

柳川市観光客動態調査 報告書

平成 24 年 3 月

柳川市観光課

目 次

第1編 調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査実施日	2
4. 調査項目	2
5. 調査担当	2
6. 実査の状況	2
7. 用語の定義	3

第2編 調査結果の概要

1. 観光の現況と特徴	4
2. 今回の調査からみえてきた傾向	11

第3編 調査結果の分析(全体)

I 回答者の属性	15
II 調査結果の分析	
1. マーケット	17
2. 同行人数	20
3. 同行者	21
4. 旅行形態	22
5. 訪問回数	23
6. 交通手段	23
7. 訪問理由	27
8. 訪問場所	29
9. 観光情報源	31
10. 立ち寄り先	34
11. 観光消費額	38
12. 不満要素	38
13. 満足度	41

調査票

第1編 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、観光の動向の変化を把握するために前回の調査（平成21年）と比較し、今後の観光施策の推進に資する資料を作成することを目的に実施した。

2. 調査方法

市内の主要観光地点3ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票（44～45頁参照）に書き込む方法をとった。

3. 調査実施日

	3月	5月	8月	10月	11月
日	19日(土)、23日(水)、 27日(日)	1日(日)、3日(火)、 4日(水)	20日(土)、31日(水)	30日(日)	3日(木)、13日(日)、 19日(土)

4. 調査項目

- ①観光客の属性
- ②交通手段
- ③来訪の目的
- ④来訪回数及び訪問箇所
- ⑤情報収集の方法
- ⑥立ち寄り先
- ⑦観光消費額
- ⑧不満要素
- ⑨満足度

5. 調査担当

九州産業大学

6. 実査の状況

(1) 調査地点

- ①西鉄柳川駅
- ②御花周辺
- ③観光案内所周辺

(2) 標本数

調査日 調査地点	3月	5月	8月	10月	11月	合計	%
西鉄柳川駅前	40	48	15	11	19	133	24.7
御花周辺	48	46	37	28	100	259	48.1
観光情報センター周辺	44	38	28	5	32	147	27.3
回答総数	132	132	80	44	151	539	
%	24.5	24.5	14.8	8.2	28.0	100.0	100.0

7. 用語の定義

(1) 観光客の定義

観光目的の来訪客を狭義の観光客、親戚訪問、買物目的を含めたものを広義の観光客とし、ここでの観光客は広義の観光客を指す。

(2) その他

- ① n は、比率算出の基数である。
- ② 複数回答可の質問では、回答件数の合計が 100% を越えることがある。
- ③ 回答はすべて百分比 (%) で表し、小数点第 2 位を四捨五入している。そのために百分比の合計が 100.0 にならない場合がある。
- ④ 「九州」には沖縄が含まれている。

第2編 調査結果の概要

1. 観光の現況と特徴

● 観光客の性別・年代別

男女の割合がほぼ同じ、年代別では「20歳代」が最も多い

観光客の性別構成は、「男性」が50.6%、「女性」が49.4%を占め、年代別では「20歳代」と「30歳代」がそれぞれ21.8%と19.6%と全体の中で高い割合を占めている。

性別・年代別構成比

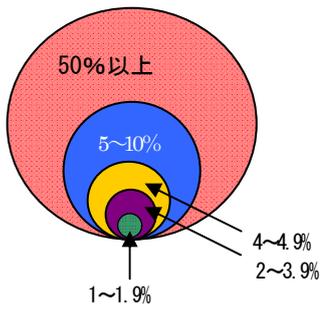
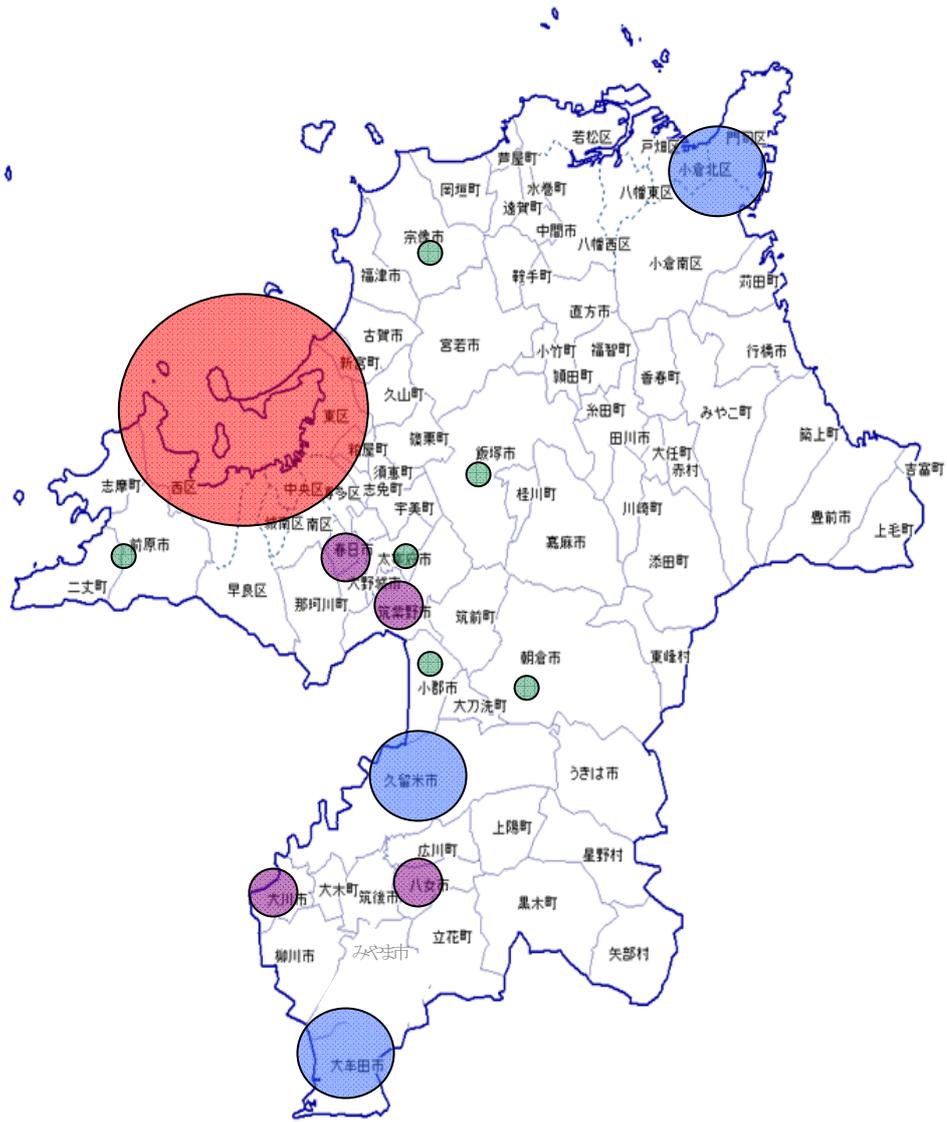
(%)

	性別		年代別							
	男性	女性	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	50.6	49.4	1.7	21.8	19.6	15.5	17.7	14.9	6.9	1.9

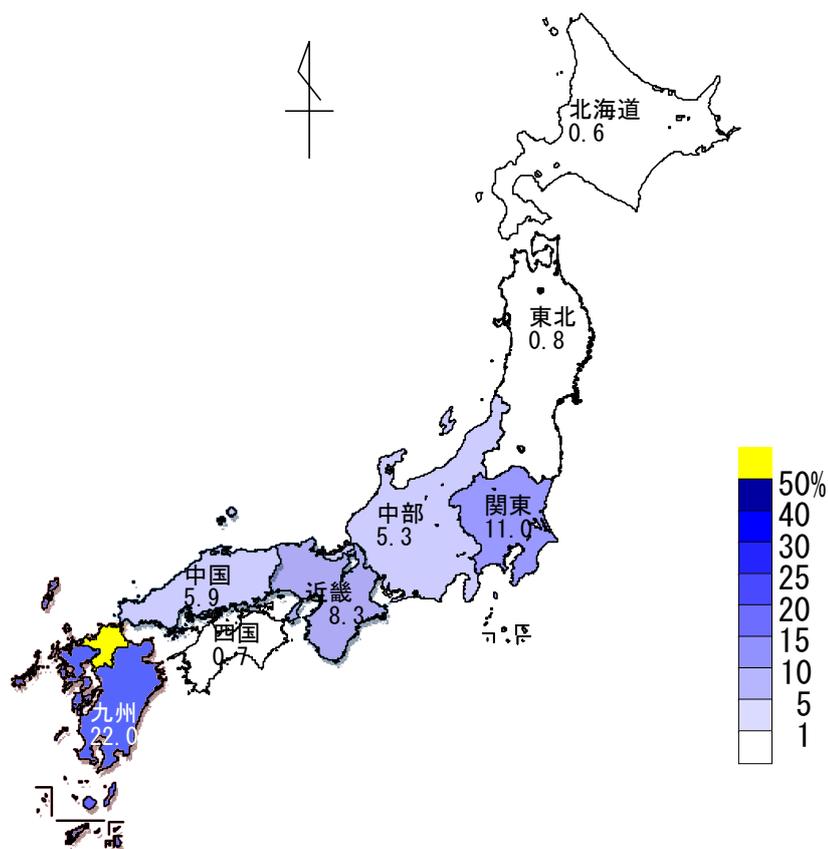
● 居住地

- ✚ 「九州外」32.6%、「福岡市内」25.0%、
「九州内」22.0%、「福岡県内（福岡市を除く）」20.5%
- ✚ 「九州外」では「関東地方」33.7%、「近畿地方」25.8%、「中国地方」18.4%
- ✚ 「九州内」では「熊本県」29.7%、「佐賀県」24.6%、「長崎県」16.1%
- ✚ 「福岡県内（福岡市を除く）」では「福岡地方」65.0%、「筑後地方」20.8%

「九州外」が最も多い32.6%、次いで「福岡市内」が25.0%、「九州内」が22.0%、「福岡県内（福岡市を除く）」が20.5%を占めている。「九州外」では「関東地方」（33.7%）が、「九州内」では「熊本県」が、「福岡県内（福岡市を除く）」では「福岡地方」がそれぞれ最も多い。



福岡県内の市町村別観光客訪問率(福岡県=100)

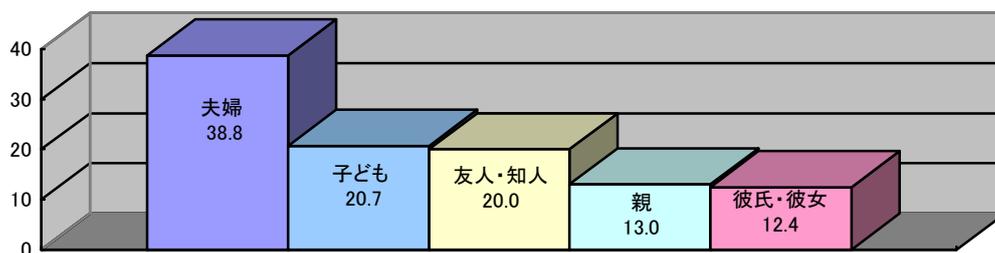


地方別観光客訪問率

● 同行者

- ✚ 「夫婦」が最も多い 38.8%
- ✚ 「家族」、「親類」の同行が多い
- ✚ 同行者数は「2人」が最も多い 45.6%、「2~3人」が全体の 64.2%

「夫婦旅行」が最も多い 38.8%、次いで「子ども」が 20.7%、「友人・知人」が 20.0%を占めている。「家族」や「親類」の同行が多い。

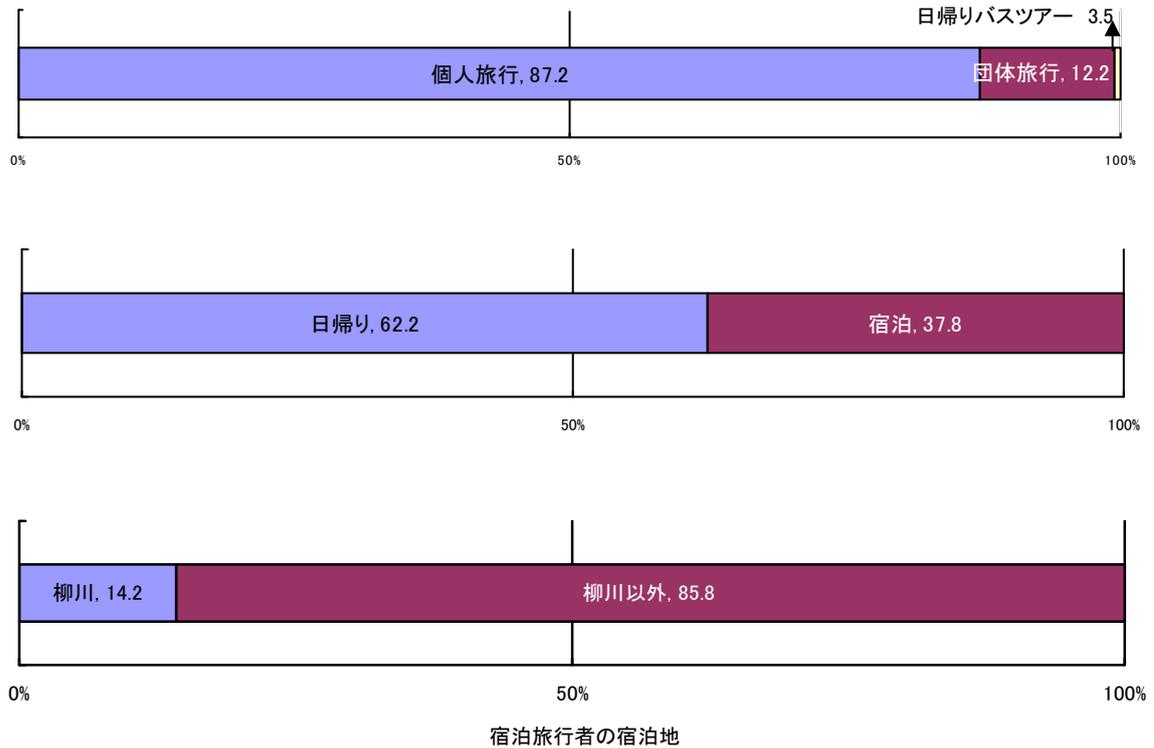


同行者

● 旅行形態

- ✚ 「個人旅行」（旅行会社を利用しない） 87.2%
- ✚ 「日帰り旅行」 62.2%、「宿泊旅行」 37.8%
- ✚ 宿泊旅行者の柳川で宿泊する割合は 14.2%

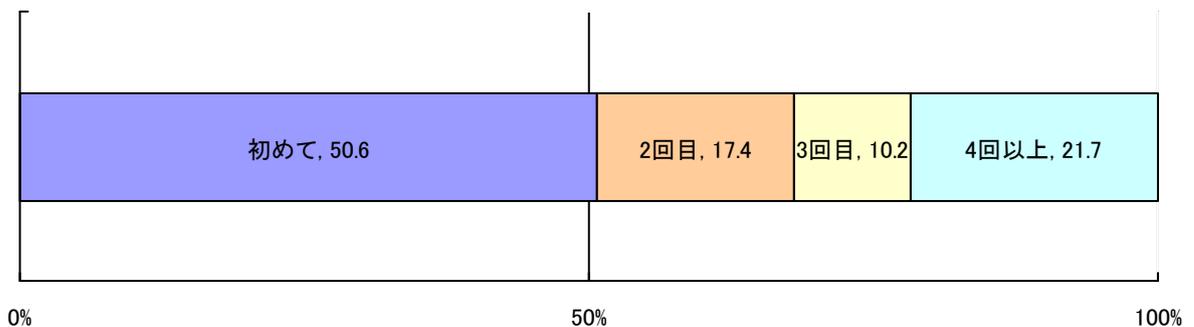
「個人旅行」、「日帰り旅行」が多いが、宿泊旅行の割合が前回 6.3%から今回は 37.8%に増加した。九州外からの旅行者増が影響している。宿泊旅行者の柳川で宿泊する割合は、宿泊旅行者全体の 14.2%である。



● 訪問回数

- ✚ 「リピーター」が 49.4%

九州外からの「初めて」の旅行者が増えたことによって 2 回以上のリピーターが前回の 57.4%から 49.4%に減少した。



● 交通手段

当地までの交通手段

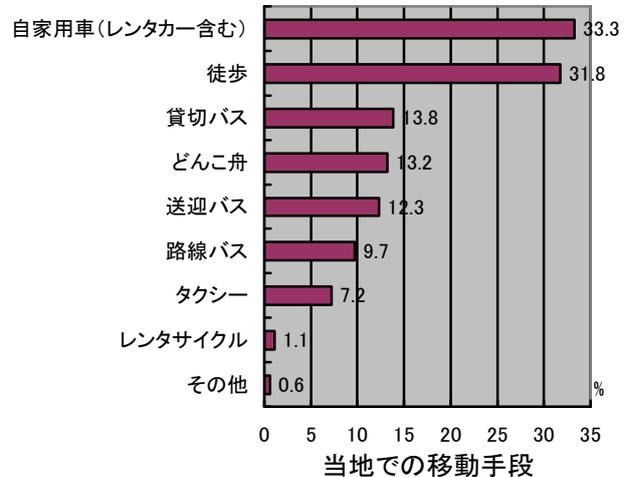
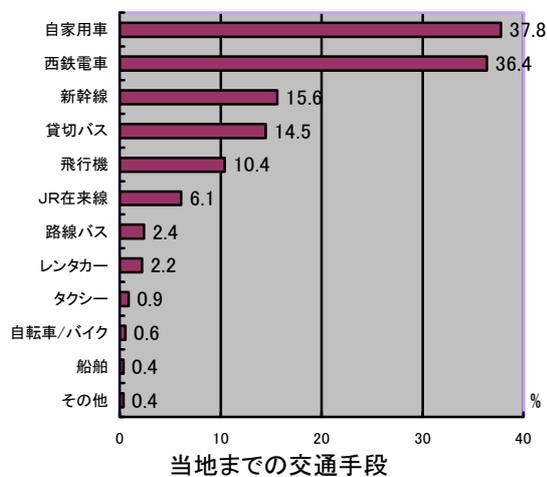
- ✚ 「自家用車」 (37.8%)
- ✚ 「西鉄電車」 (36.4%)
- ✚ 「新幹線」 (15.6%)

市内での移動

- ✚ 「自家用車(レンタカー含む)」 (33.3%)
- ✚ 「徒歩」 (31.8%)
- ✚ 「貸切バス」 (13.8%)

当地までの交通手段は「自家用車」(37.8%)が最も多く、次いで「西鉄電車」(36.4%)、「新幹線」(15.6%)の順である。市内での移動手段は「自家用車(レンタカー含む)」(33.3%)が最も多く、次いで「徒歩」(31.8%)、「貸切バス」(13.8%)順である。

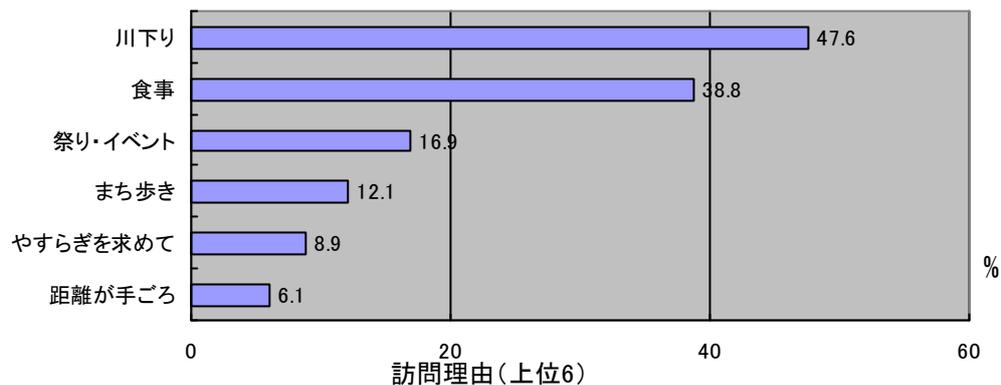
九州外からの新幹線及び飛行機利用の観光客が増え、それに伴って当地までの交通手段として「西鉄電車」の利用が、市内では「貸切バス」の利用が増加した。



● 訪問理由 (観光目的)

- ✚ 「川下り」 (47.6%)
- ✚ 「食事」 (38.8%)
- ✚ 「祭り・イベント」 (16.9%)
- ✚ 「まち歩き」 (12.1%)

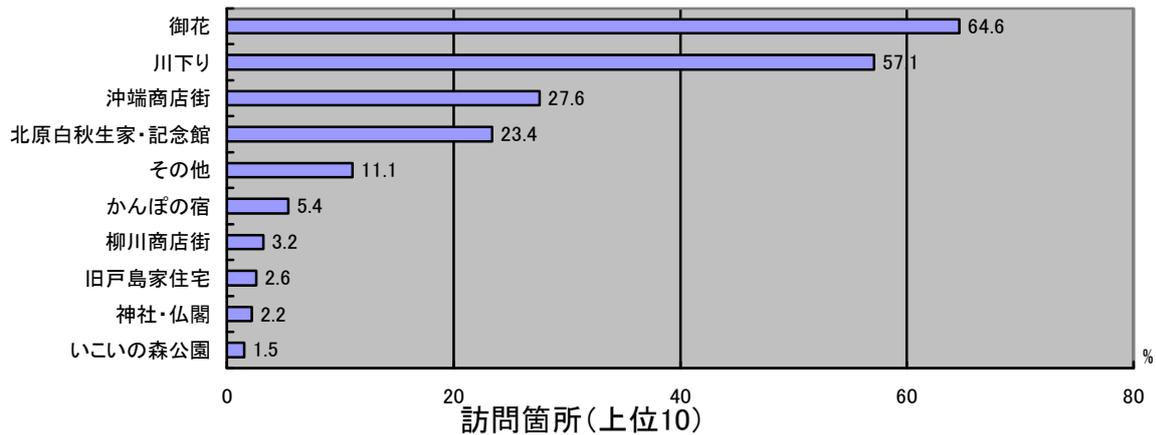
最も大きい訪問理由は、「川下り」(47.6%)と「食事」(38.8%)である。



● 訪問箇所

- ✚ 「御花」 (64.4%)
- ✚ 「川下り」 (57.1%)
- ✚ 「沖端商店街」 (27.6%)
- ✚ 「北原白秋生家・記念館」 (23.4%)

「御花」が最も多く、次いで「川下り」、「沖端商店街」、「北原白秋生家・記念館」の順である。



* 「その他」には行きつけまたは行ってみたい「うなぎ店」が多く含まれている

● 観光情報源

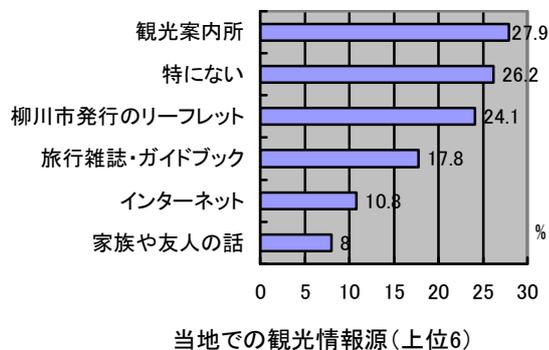
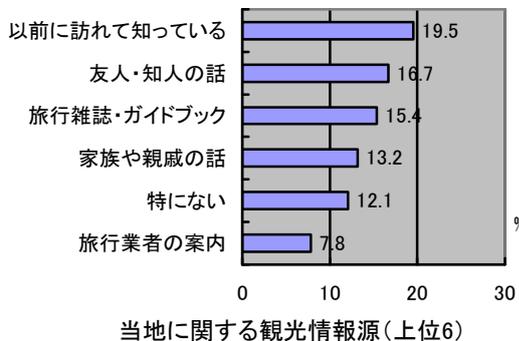
当地に関する情報源

- ✚ 「以前に訪れて知っている」 (19.5%)
- ✚ 「友人・知人の話」 (16.7%)
- ✚ 「旅行雑誌・ガイドブック」 (15.4%)

当地での情報源

- ✚ 「観光案内所」 (27.9%)
- ✚ 「特にない」 (26.2%)
- ✚ 「リーフレット」 (24.1%)

当地に関する観光情報は、「以前に訪れて知っている」を除いて「友人・知人の話」、「旅行雑誌・ガイドブック」が最も多く、当地では「観光案内所」の利用が最も多い。



● 立ち寄り先

往 路

✚ 立ち寄る割合は 29.2% (「直接来た」70.8%)

✚ 立ち寄り先

県別では「福岡県」(22.9%)、「熊本県」(5.8%)の順

観光地では「福岡市」(13.7%)、「太宰府天満宮」(4.0%)の順

復 路

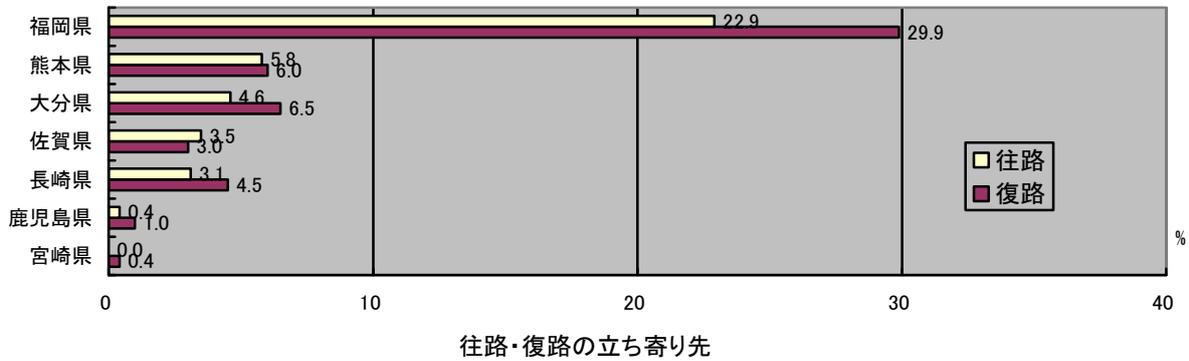
✚ 立ち寄る割合は 39.7% (「このまま帰宅」60.3%)

✚ 立ち寄り先

県別では「福岡県」(29.9%)、「大分県」(6.5%)の順

観光地では「福岡市」(18.0%)、「太宰府天満宮」(7.4%)の順

往路、復路の立ち寄り先を県別でみると、どちらも「福岡県」が多く、観光地では「福岡市」と「太宰府市」が最も多い。また、往路より復路で立ち寄る割合が高い。



往路の立ち寄り先
ランキング

- 1位 福岡市 (13.7%)
- 2位 太宰府天満宮 (4.0%)
- 3位 熊本市 (2.7%)
- 4位 阿蘇 (1.9%)
- 5位 佐賀市 (1.5%)
- 長崎市 (1.5%)
- 湯布院 (1.5%)

復路の立ち寄り先
ランキング

- 1位 福岡市 (18.0%)
- 2位 太宰府天満宮 (7.4%)
- 3位 熊本市 (2.6%)
- 4位 黒川 (2.1%)
- 5位 長崎市 (1.9%)
- 阿蘇 (1.9%)
- 別府 (1.9%)
- 湯布院 (1.9%)

● 観光消費額

観光客の一人当たり平均消費額は「宿泊費」が11,996円、「飲食費」が2,614円、「おみやげ費」が3,183円、「交通費」が1,281円、「川下り」が1,425円、「入場・観覧・利用料等」が594円である。

表 項目別1人当たりの平均消費額

	利用率	平均消費額 (円)
宿泊費	4.8	11,996
飲食費	76.8	2,614
おみやげ費	35.6	3,183
交通費	22.8	1,281
乗船費	51.4	1,425
入場・観覧・利用料等	21.5	594

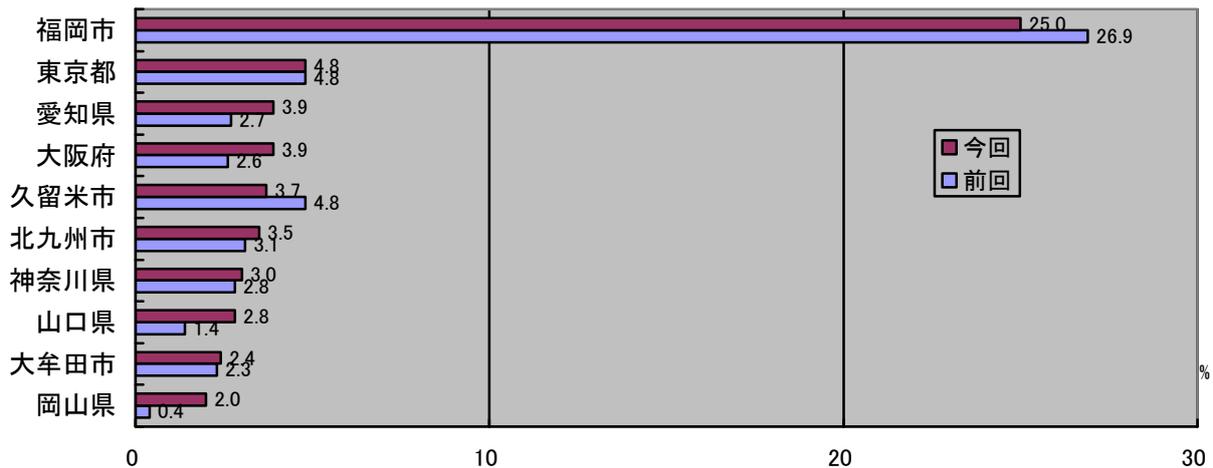
2. 今回の調査からみえてきた傾向

● 居住地

✚ 「九州外」が大幅に増加（前回 27.9%→今回 32.6%）

「九州外」が前回の27.9%から32.6%へと大きく増加した。なかでも「愛知県」（2.7%→3.9%）、「大阪府」（2.6%→3.9%）、山口県（1.4%→2.8%）、「岡山県」（0.4%→2.0%）の伸びが大きい。

居住地（観光客が全体の2%以上）



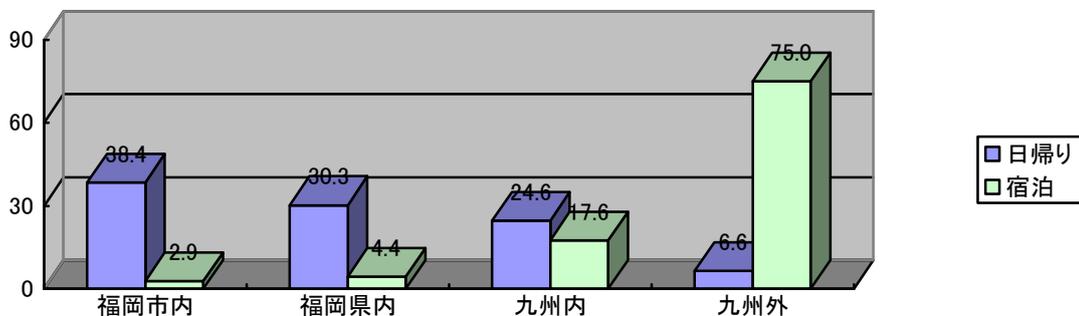
● 旅行形態

✚ 「宿泊旅行」が大きく増加 37.8%（前回 6.3%）

✚ 宿泊旅行者の本市での宿泊滞在率は 14.2%

✚ 旅行者全体の本市での宿泊滞在率は 5.4%

「九州外」からの旅行者の宿泊旅行の割合は 75.0%で、九州外からの旅行者増は、日帰り旅行者がほとんどであったこれまでの本市観光客の旅行形態にも大きな変化をもたらした。

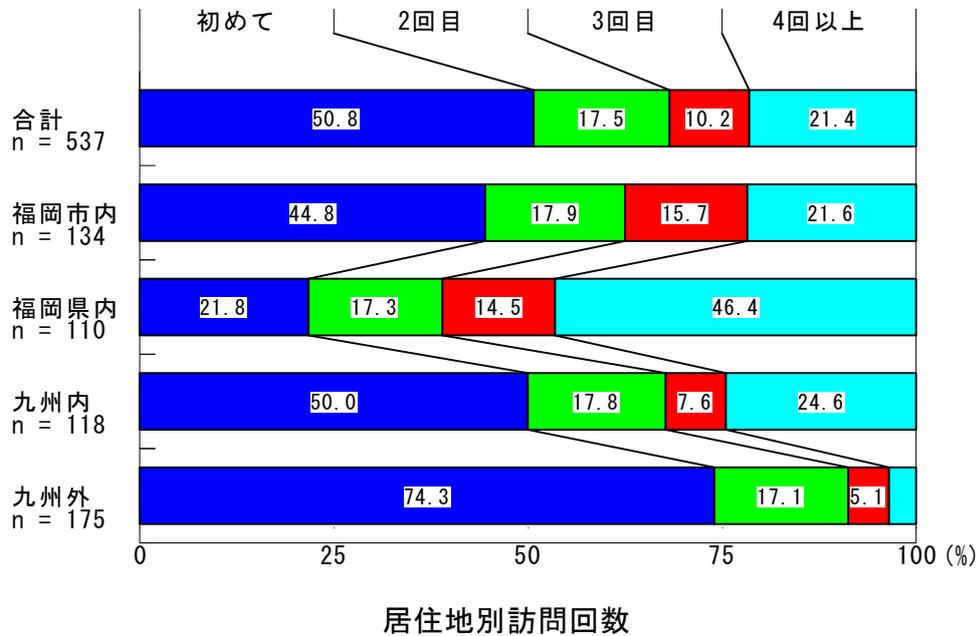


宿泊旅行者が柳川で滞在する割合を居住地別で見ると、「福岡市内」が3.0%、「福岡県内」が5.5%、「九州内」が7.6%、「九州外」が5.8%である。

●訪問回数

✚ 「初めて」の旅行者が50.8%に増加（前回42.6%）

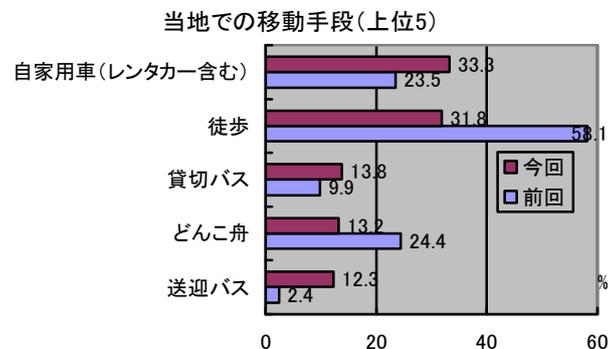
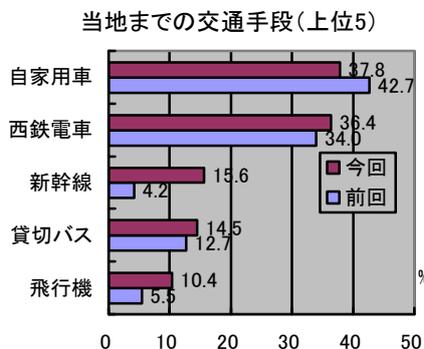
「初めて」の割合が高い「九州外」からの旅行者増によって全体の「初めて」の旅行者が大きく増加した。期待通りの満足・感動提供がこれまで以上に求められる。



●交通手段

✚ 当地までの交通手段として「新幹線」、「飛行機」利用が大幅に増加
 ✚ 当地では「自家用車（レンタカーを含む）」、「送迎バス」が大幅に増加

「九州外」からの旅行者増によって当地まで「新幹線」、「飛行機」の利用者が大きく増え、当地では「自家用車（レンタカー含む）」、「貸切バス」、「送迎バス」の利用が増えた。2次交通及び観光案内の整備がこれまで以上に求められると言えよう。



● 訪問理由

- ✚ 「川下り」と「食事」の目的が大きく増加
- ✚ 最も誘致力のある資源は「川下り」
- ✚ 「祭り・イベント」、「まち歩き」は減少

「川下り」を訪問理由の第1とする割合が最も高いのは、居住地では「九州外」、訪問回数では「初めて」の旅行者である。つまり、資源としての「川下り」が他の資源と比べて誘致力が高いことを意味している。

居住地別訪問理由

訪問理由	上段: 度数 下段: %	居住地			
		合計	福岡市内	福岡県内	九州内
合計	536 100.0	133 100.0	110 100.0	118 100.0	175 100.0
祭り・イベントがあるから	90 16.8	25 18.8	34 30.9	25 21.2	6 3.4
「まち歩き」のため	65 12.1	19 14.3	14 12.7	17 14.4	15 8.6
「川下り」のため	256 47.8	65 48.9	32 29.1	55 46.6	104 59.4
温泉に入るため	18 3.4	7 5.3	4 3.6	4 3.4	3 1.7
食事をするため	208 38.8	62 46.6	44 40.0	55 46.6	47 26.9
やすらぎを求めて	47 8.8	13 9.8	9 8.2	8 6.9	17 9.7
訪れたい名所・旧跡があるから	19 3.5	2 1.5	3 2.7	5 4.2	9 5.1
訪れたい観光施設(記念館等)	18 3.4	4 3.0	5 4.5	1 0.8	8 4.6
利用したい宿泊施設があるから	2 0.4	-	1 0.9	-	1 0.6
交通の便がよい	8 1.5	2 1.5	1 0.9	4 3.4	1 0.6
交通所要時間が短い	9 1.7	3 2.3	1 0.9	4 3.4	1 0.6
距離が手ごろであるため	33 6.2	11 8.3	13 11.8	6 5.1	3 1.7
費用が手ごろであるため	4 0.7	1 0.8	2 1.8	-	1 0.6
業務や商用のため	1 0.2	-	-	-	1 0.6
以前にも訪れたことがあるため	17 3.2	4 3.0	6 5.5	6 5.1	1 0.6
親戚・知人がいるため	16 3.0	4 3.0	3 2.7	5 4.2	4 2.3
特に理由(動機)はない	31 5.8	3 2.3	4 3.6	6 5.1	18 10.3
行きたい「うなぎ店」がある	31 5.8	8 6.0	2 1.8	13 11.0	8 4.6
その他	33 6.2	4 3.0	7 6.4	2 1.7	20 11.4

訪問回数別訪問理由

訪問理由	上段: 度数 下段: %	訪問回数			
		合計	初めて	2回目	3回目
合計	538 100.0	273 100.0	94 100.0	55 100.0	116 100.0
祭り・イベントがあるから	91 16.9	26 9.5	9 9.6	14 25.5	42 36.2
「まち歩き」のため	65 12.1	32 11.7	12 12.8	10 18.2	11 9.5
「川下り」のため	256 47.6	166 60.8	53 56.4	14 25.5	23 19.8
温泉に入るため	18 3.3	8 2.9	2 2.1	2 3.6	6 5.2
食事をするため	209 38.8	105 38.5	37 39.4	18 32.7	49 42.2
やすらぎを求めて	48 8.9	27 9.9	5 5.3	5 9.1	11 9.5
訪れたい名所・旧跡があるから	19 3.5	7 2.6	7 7.4	2 3.6	3 2.6
訪れたい観光施設(記念館等)	18 3.3	8 2.9	3 3.2	2 3.6	5 4.3
利用したい宿泊施設があるから	2 0.4	1 0.4	-	-	1 0.9
交通の便がよい	8 1.5	4 1.5	2 2.1	1 1.8	1 0.9
交通所要時間が短い	9 1.7	4 1.5	4 4.3	-	1 0.9
距離が手ごろであるため	33 6.1	13 4.8	3 3.2	5 9.1	12 10.3
費用が手ごろであるため	4 0.7	3 1.1	1 1.1	-	-
業務や商用のため	1 0.2	-	-	1 1.8	-
以前にも訪れたことがあるため	17 3.2	-	9 9.6	3 5.5	5 4.3
親戚・知人がいるため	16 3.0	4 1.5	3 3.2	1 1.8	8 6.9
特に理由(動機)はない	31 5.8	20 7.3	3 3.2	5 9.1	3 2.6
行きたい「うなぎ店」がある	31 5.8	14 5.1	9 9.6	-	8 6.9
その他	33 6.1	18 6.6	2 2.1	7 12.7	6 5.2

● 観光情報源

- ✚ 当地に関する情報源として「旅行・ガイドブック」、「旅行業者の案内(説明)」が増加
- ✚ 当地では「観光案内所」、「柳川市発行のリーフレット」、「インターネット」が増加

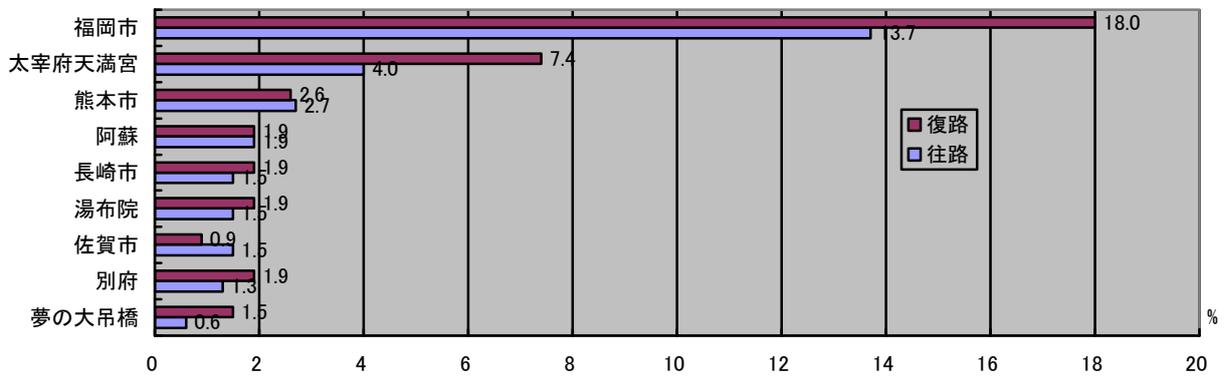
遠隔地からの旅行者は「旅行・ガイドブック」、「旅行業者の案内」を参考にするケースが多い。九州外から観光客が増加し、これらを観光情報源とする割合が高くなった。当地では、初めての旅行者が増えたことで、「観光案内所」、「リーフレット」を利用する割合が高くなった。

● 立ち寄り先

- ✚ 往路の立ち寄り率は 29.2%
- ✚ 復路の立ち寄り率は 39.7%
- ✚ 往路、復路共に「福岡市」と「太宰府天満宮」への立ち寄り率が他と比べて高い
- ✚ 「九州外」の立ち寄る範囲が広い

立ち寄り率は往路より復路で高くなる。特に「福岡市」、「太宰府天満宮」への立ち寄り率が高い。「九州外」からの旅行者は立ち寄る割合が高く（往路 61.5%、復路 73.3%）、立ち寄る範囲が広い。いわゆるラケット型（グリップ（ハンドル）よりフェイスの面積が広い）の周遊行動が見られる（ページ 35, 37 参照）。

立ち寄り先(上位9)

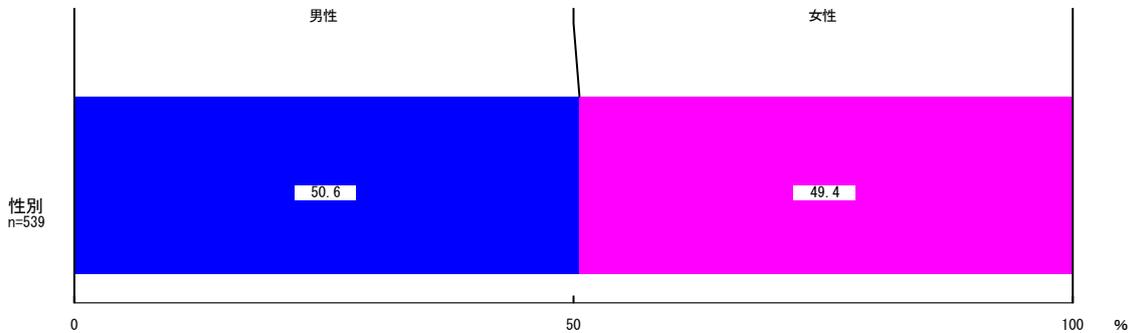


第3編 調査結果の分析

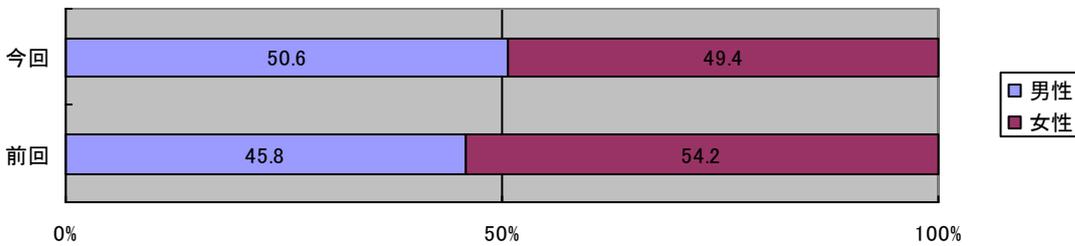
I 回答者の属性

1. 性別

回答者の性別をみると、「男性」が50.6%(前回45.8%)、「女性」が49.4%(前回54.2%)である。

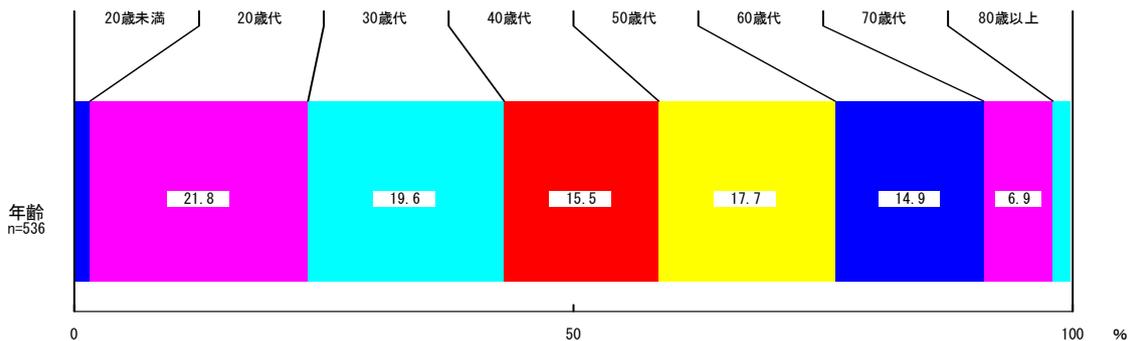


前回との比較

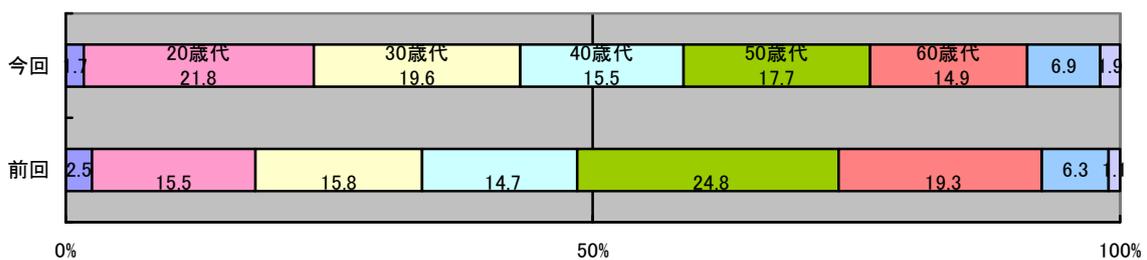


2. 年齢別

年齢別では「20歳代」が21.8%と最も多く、次いで「30歳代」が19.6%、「50歳代」が17.7%、「40歳代」が15.5%、「60歳代」が14.9%となっており、20～30歳代が全体40%以上を占め、前回と比べて20～30歳代が増加し、50～60歳代が減少した。

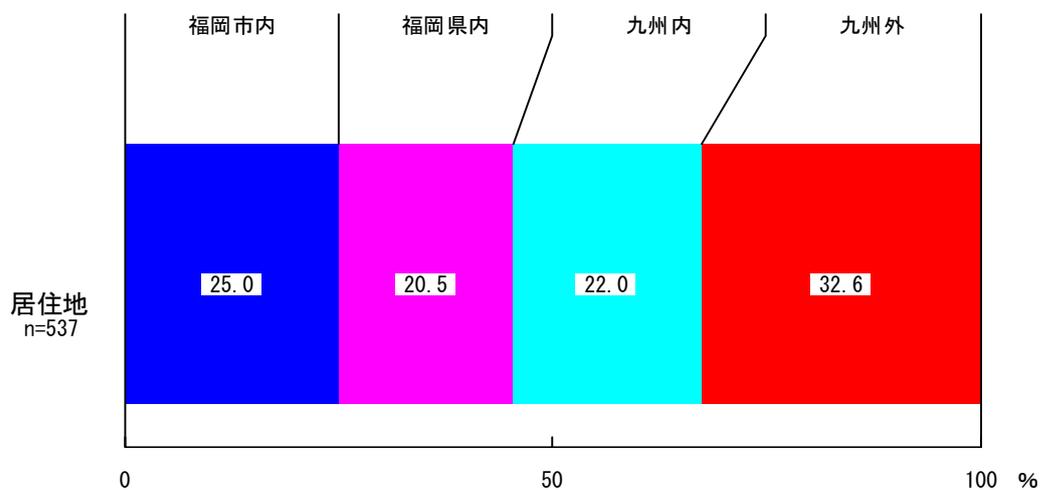


前回との比較



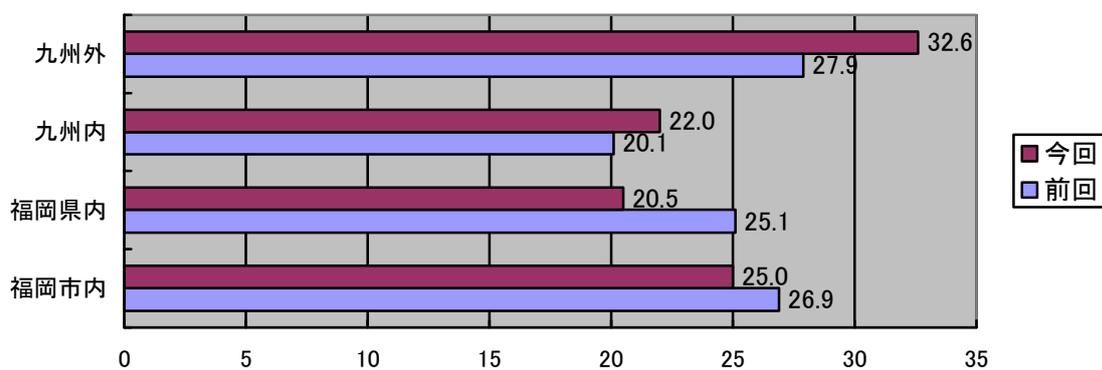
3. 居住地

「九州外」からが一番多い32.6%、次に「福岡市内」が25.0%、「九州内」が22.0%、「福岡県内」（福岡市以外）が20.5%である。



前回と比較すると、「九州外」が増加し、「福岡県内」が減少した。

居住地の割合(前回との比較)



II 調査結果の分析

1. マーケット

(1) 福岡県内

 「福岡地域」が65.0%、「筑後地域」が20.8%で全体の85.8%
 市町村では「福岡市」が54.1%、「久留米市」が8.2%、「北九州市」が7.8%

福岡県内では「福岡地域」が65.0%(うち、「福岡市」54.1%)と最も多く、次に「筑後地域」が20.8%、「北九州地域」が9.0%、「筑豊地域」が4.0%である。

前回と比較してみると、「北九州市」が福岡県内比、全体比で増加した。

居住地

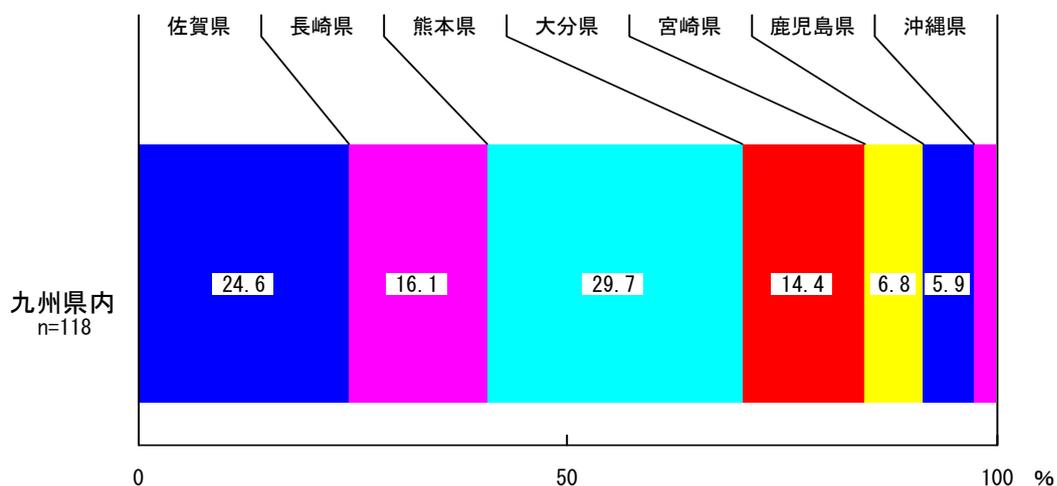
地域区分	市町村	今回		前回	
		福岡県内比(n=244)	全体比(n=537)	福岡県内比(n=729)	全体比(n=1,429)
福岡地方	福岡市	54.1	25.0	52.7	26.9
	春日市	2.0	0.9	2.6	1.3
	太宰府市	1.6	0.7	2.2	1.1
	筑紫野市	2.5	1.1	1.9	1.0
	大野城市	0.8	0.4	1.6	0.8
	宗像市	1.6	0.7	1.5	0.8
	古賀市	0.0	0.0	1.0	0.5
	福津市	0.8	0.4	0.0	0.0
	糸島市	1.2	0.6	1.1	0.5
	那珂川町	0.4	0.2	0.8	0.4
	新宮町	0.0	0.0	0.4	0.2
	粕屋町	0.0	0.0	0.4	0.2
	宇美町	0.0	0.0	0.3	0.1
	篠栗町	0.0	0.0	0.3	0.1
	志免町	0.0	0.0	0.1	0.1
小計		65.0	30.0	66.9	34.1
北九州	北九州市	7.8	3.5	6.2	3.1
	岡垣町	0.0	0.0	0.3	0.1
	行橋市	0.4	0.2	0.1	0.1
	豊前市	0.4	0.2	0.0	0.0
	中間市	0.0	0.0	0.1	0.1
	上毛町	0.0	0.0	0.1	0.1
	遠賀町	0.4	0.2	0.0	0.0
小計		9.0	4.1	6.9	3.5
筑豊地方	飯塚市	1.6	0.7	1.4	0.7
	直方市	0.8	0.4	0.5	0.3
	嘉麻市	0.4	0.2	0.5	0.3
	田川市	0.8	0.4	0.3	0.1
	小竹町	0.0	0.0	0.1	0.1
	鞍手町	0.4	0.2	0.0	0.0
小計		4.0	1.9	2.9	1.5
筑後地方	久留米市	8.2	3.7	9.3	4.8
	大牟田市	5.3	2.4	4.5	2.3
	大川市	2.0	0.9	2.6	1.3
	筑後市	0.0	0.0	2.2	1.1
	みやま市	0.8	0.4	1.2	0.6
	八女市	2.9	1.3	1.0	0.5
	小郡市	1.2	0.6	0.8	0.4
	朝倉市	1.2	0.6	0.5	0.3
	大木町	0.0	0.0	0.4	0.2
	うきは市	0.0	0.0	0.3	0.1
	筑前町	0.0	0.0	0.1	0.1
	大刀洗町	0.0	0.0	0.1	0.1
	広川町	0.0	0.0	0.1	0.1
小計		20.8	9.9	23.3	11.9

注：2010年1月に前原市、志摩町、二丈町が合併し、糸島市となった。

(2) 九州・沖縄圏内

「熊本県」が 29.7%、「佐賀県」が 24.6%で全体の 54.3%

九州内では「熊本県」が 29.7%で最も多い。次いで「佐賀県」24.6%、「長崎県」16.1%、「大分県」14.4%の順である。



前回と比べて、順位に変動はないが、「長崎県」、「大分県」、「宮崎県」など、本市から比較的遠い県からの増加がみられた。

	今回		前回	
	九州・沖縄圏内比 (n=118)	全体比 (n=539)	九州・沖縄圏内比 (n=288)	全体比 (n=1429)
佐賀県	24.6	5.4	26.7	5.4
長崎県	16.1	3.5	13.5	2.7
熊本県	29.7	6.5	34.0	6.9
大分県	14.4	3.2	12.5	2.5
宮崎県	6.8	1.5	3.8	0.8
鹿児島県	5.9	1.3	5.6	1.1
沖縄県	2.5	0.6	3.8	0.8

(3) 九州・沖縄圏外

 「関東地方」が最も多い33.7%、次いで「近畿地方」が25.8%
 都道府県別では、「東京都」(14.9%)、「愛知県」(12.0%)、「大阪府」(12.0%)

地域区分では「関東地方」、「近畿地方」、「中国地方」、「中部地方」の順に多い。都道府県別では、前回と比べて「愛知県」、「大阪府」、「岡山県」、「山口県」が増加した。

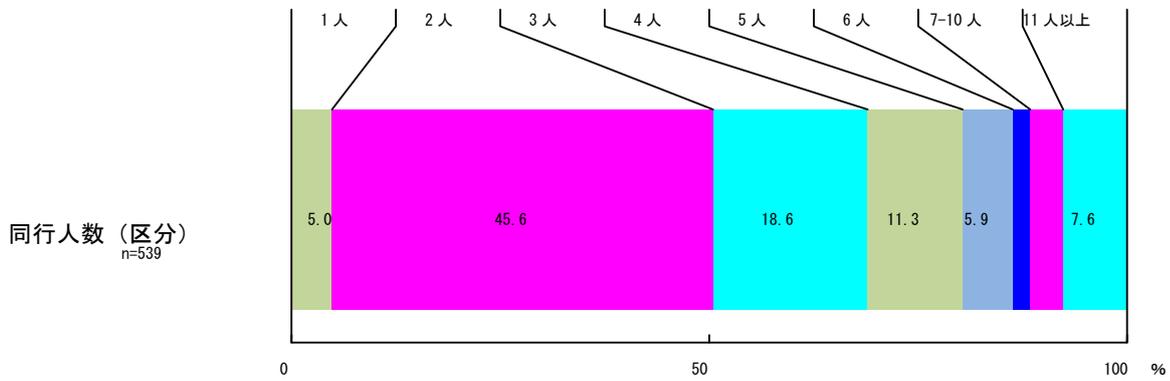
地域区分	都道府県	今回		前回	
		九州圏外比 (n=176)	全体比 (n=537)	九州圏外比 (n=392)	全体比 (n=1,429)
北海道	北海道	1.7	0.6	0.8	0.2
小計		1.7	0.6	0.8	0.2
東北地方	青森県	0.6	0.2	0.3	0.1
	岩手県	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮城県	0.6	0.2	1.0	0.3
	秋田県	0.0	0.0	0.3	0.1
	山形県	0.0	0.0	1.3	0.4
	福島県	1.1	0.4	1.0	0.3
小計		2.3	0.8	3.9	1.2
関東地方	茨城県	1.7	0.6	0.8	0.2
	栃木県	0.0	0.0	2.8	0.8
	群馬県	0.0	0.0	1.8	0.5
	埼玉県	5.1	1.7	3.3	0.9
	千葉県	2.9	0.9	5.4	1.5
	東京都	14.9	4.8	17.3	4.8
	神奈川県	9.1	3.0	10.2	2.8
	小計		33.7	11.0	41.6
中部地方	新潟県	0.0	0.0	0.5	0.1
	富山県	0.6	0.2	0.3	0.1
	石川県	0.0	0.0	1.0	0.3
	福井県	0.0	0.0	0.3	0.1
	山梨県	0.0	0.0	2.3	0.6
	長野県	0.0	0.0	0.8	0.2
	岐阜県	1.1	0.4	0.8	0.2
	静岡県	1.1	0.4	3.6	1.0
	愛知県	12.0	3.9	9.7	2.7
	三重県	1.1	0.4	0.8	0.2
小計		15.9	5.3	20.1	5.5
近畿地方	滋賀県	2.3	0.7	0.8	0.2
	京都府	2.9	0.9	2.3	0.6
	大阪府	12.0	3.9	9.4	2.6
	兵庫県	5.7	1.9	5.1	1.4
	奈良県	2.9	0.9	1.0	0.3
	和歌山県	0.0	0.0	0.3	0.1
小計		25.8	8.3	18.9	5.2
中国地方	鳥取県	0.0	0.0	0.0	0.0
	島根県	0.6	0.2	1.3	0.4
	岡山県	6.3	2.0	1.5	0.4
	広島県	2.9	0.9	5.1	1.4
	山口県	8.6	2.8	5.1	1.4
小計		18.4	5.9	13.0	3.6
四国地方	徳島県	0.0	0.0	0.5	0.1
	香川県	0.0	0.0	0.5	0.1
	愛媛県	2.3	0.7	0.8	0.2
	高知県	0.0	0.0	0.3	0.1
小計		2.3	0.7	2.0	0.6

注：他に韓国人観光客が1名

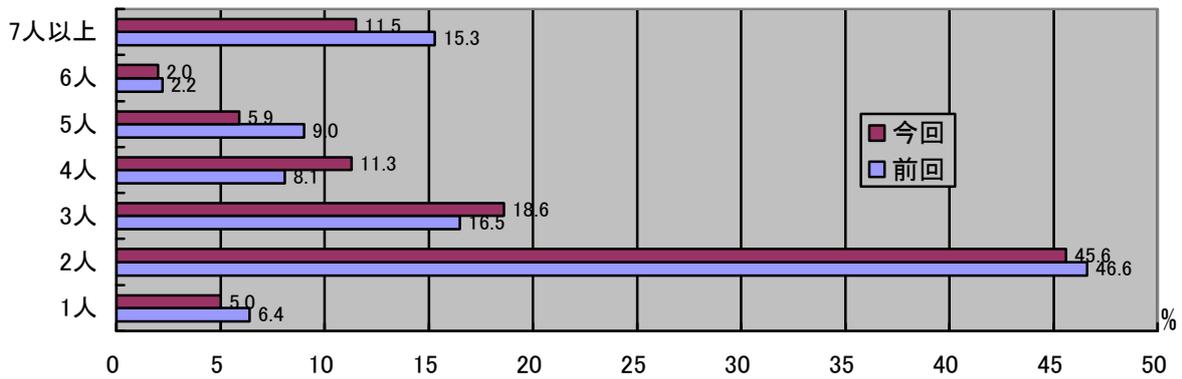
2. 同行人数

- 「2人」が最も多い45.6%、次いで「3人」が18.6%
- 「1～4人」が80.5%

「2～3人」が多く、合わせて64.2%を占めている。前回と比べると、「3～4人」が増え、「5人」と「7人以上」が減少した。



同行人数の比較



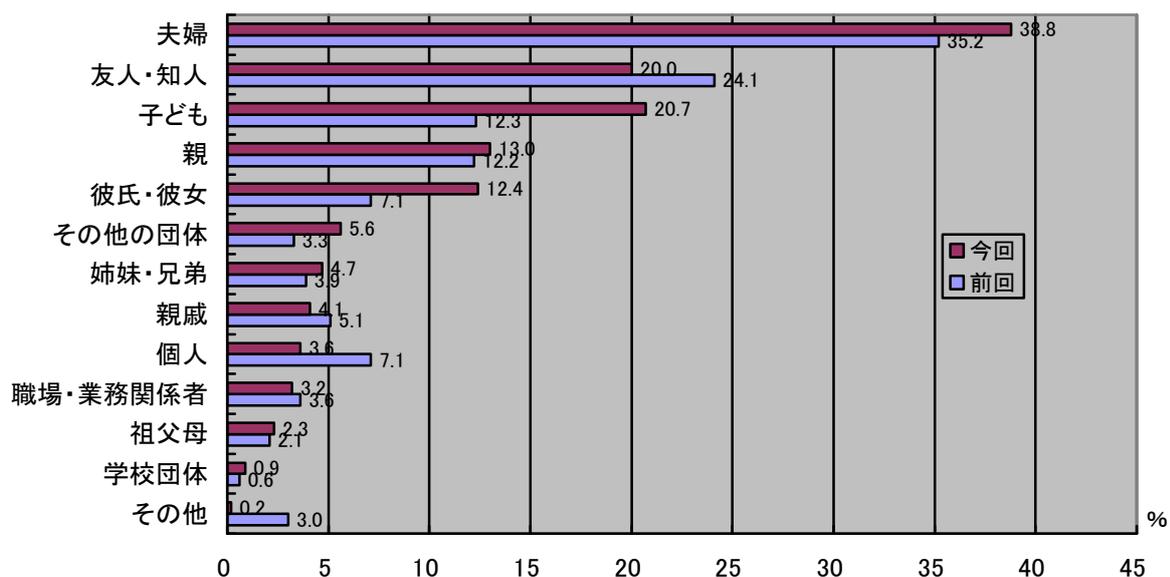
3. 同行者

■ 「夫婦」が最も多い38.8%
■ 「子ども」が20.7%
■ 「友人・知人」が20.0%

「夫婦」が最も多い38.8%、次いで「子ども」が20.7%である。「親」も13.0%を占め、家族旅行が多い。「友人・知人」が20.0%、「彼氏・彼女」が12.4%である。

前回と比べると、「夫婦」、「子ども」、「彼氏・彼女」が増加し、「友人・知人」、「個人（1人）」が減少した。

同行者の比較



居住地別では同行者に大きな違いはないが、順位をつけると、福岡県内と同様に「親」がランクインしている。

居住地×同伴者

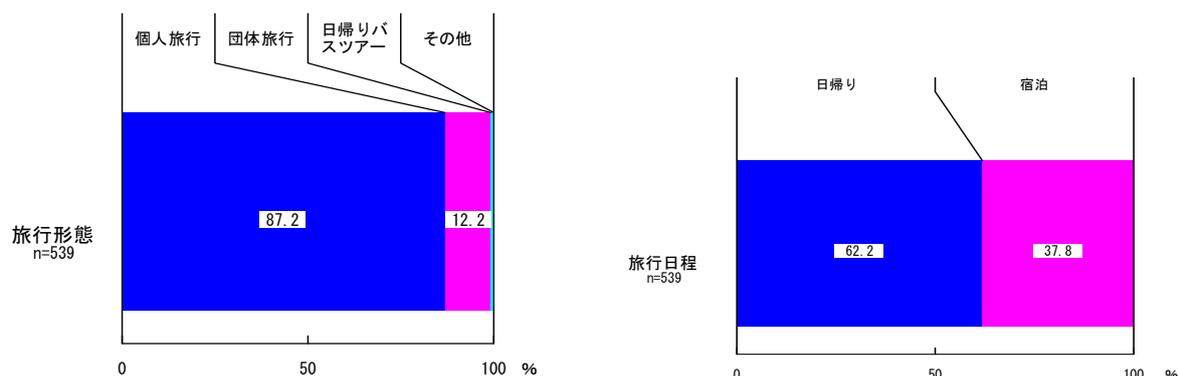
上段：度数 下段：%	居住地					順位
	合計	福岡市内	福岡県内	九州内	九州外	
合計	529	130	109	118	172	<福岡市内> 夫婦-友人・知人-子ども-彼氏・彼女
個人	19	4	6	1	8	<福岡県内> 夫婦-子ども- 親 /友人・知人
夫婦	206	40	48	45	73	<九州内>
親	69	16	18	13	22	夫婦-友人・知人-子ども-彼氏・彼女
子ども	110	31	32	17	30	<九州外>
祖父母	12	1	3	5	3	夫婦-友人・知人-子ども- 親
親戚	21	4	6	7	4	
友人・知人	106	34	18	21	33	
姉妹・兄弟	24	5	5	6	8	
彼氏・彼女	66	26	7	15	18	
職場・業務関係者	17	2	-	8	7	
学校団体	5	4	1	-	-	
その他の団体(招待旅行、町)	30	-	6	12	12	
その他	1	-	-	-	1	
	0.2	-	-	-	0.6	

4. 旅行形態

- 「個人旅行」(旅行会社を利用しない)が87.2%
- 「日帰り旅行」62.2%
- 西鉄電車を利用する観光客の平均滞在時間は約3時間半

旅行会社を利用しない「個人旅行」が87.2%、旅行会社の「団体旅行」が12.2%(うちパック旅行を利用した割合は5.9%)、「日帰りバスツアー」が0.6%である。

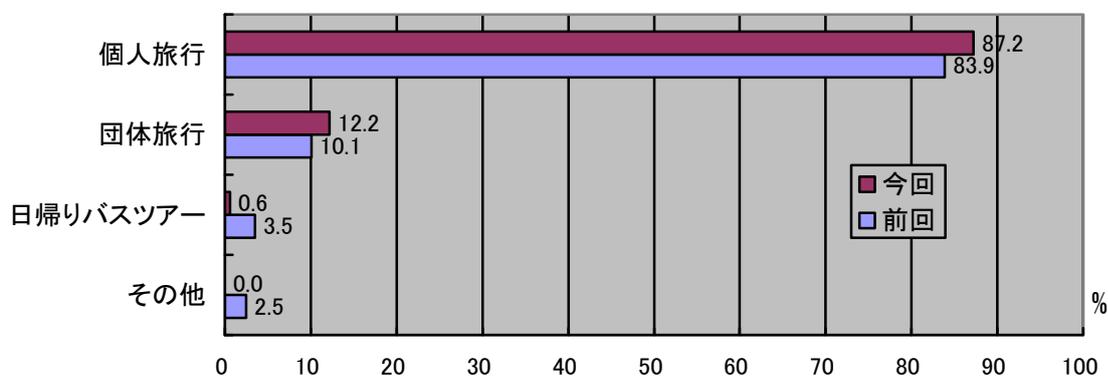
「日帰り旅行」が62.2%、「宿泊旅行」は37.8%である。



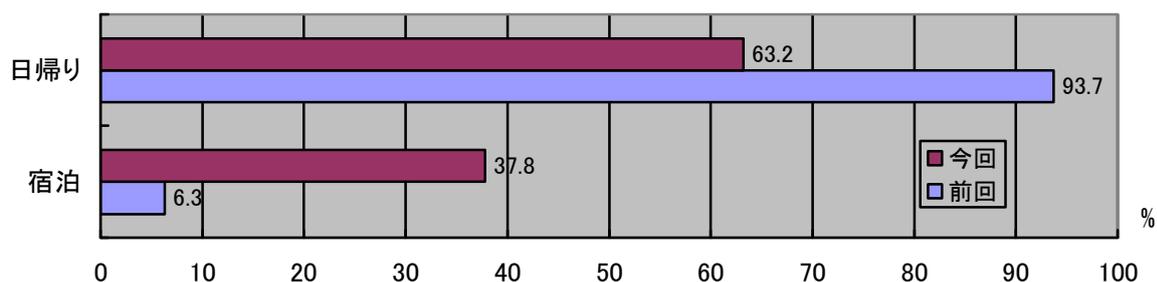
前回と比較してみると、「個人旅行」、「団体旅行」どちらも増えているが、「団体旅行」のうち「パッケージ」利用が約半数を占めている。

旅行日程では、「宿泊」が大幅に増加している。

旅行形態の比較



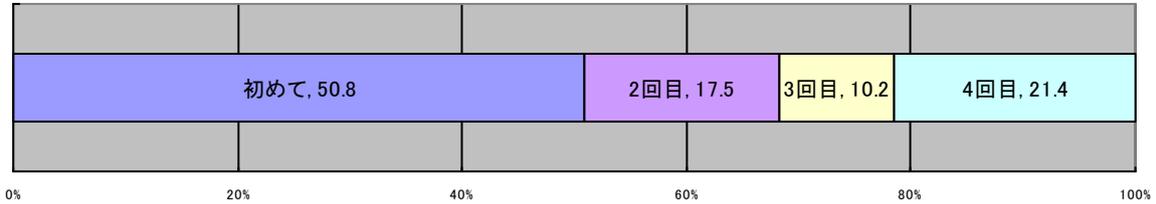
旅行日程の比較



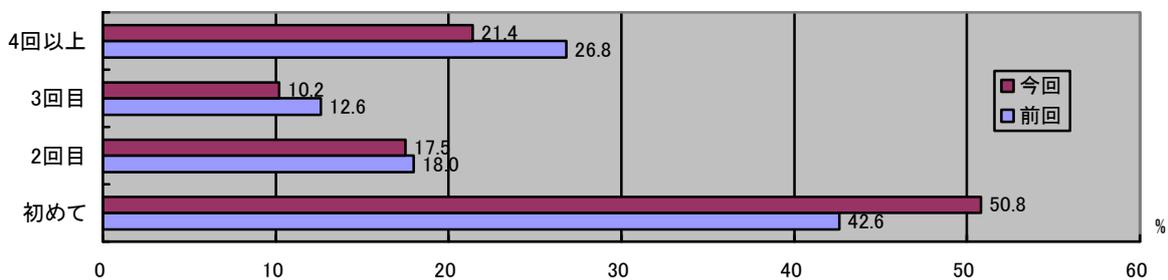
5. 訪問回数

「リピーター」が49.4%

「初めて」が前回と比べて大きく増加して50.8%、「リピーター」が49.2%である。「リピーター」の中には「4回以上」(21.4%)が最も多く、「2回目」が17.5%、「3回目」が10.2%である。



訪問回数の比較



6. 交通手段

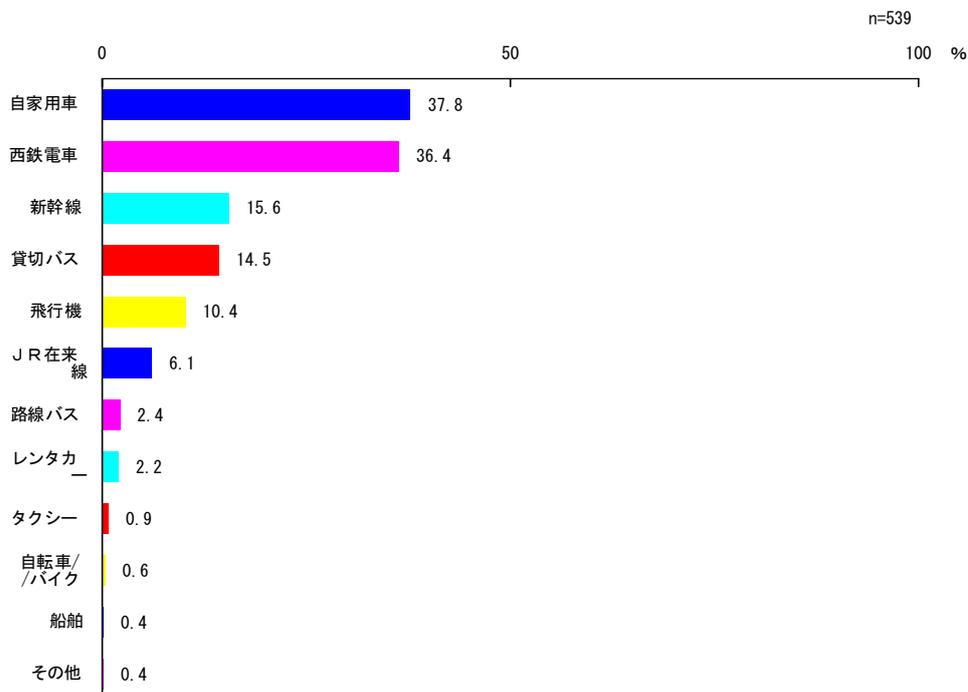
(1) 当地までの交通手段

「自家用車」が37.8%、「西鉄電車」が36.4%

「新幹線」が15.6%

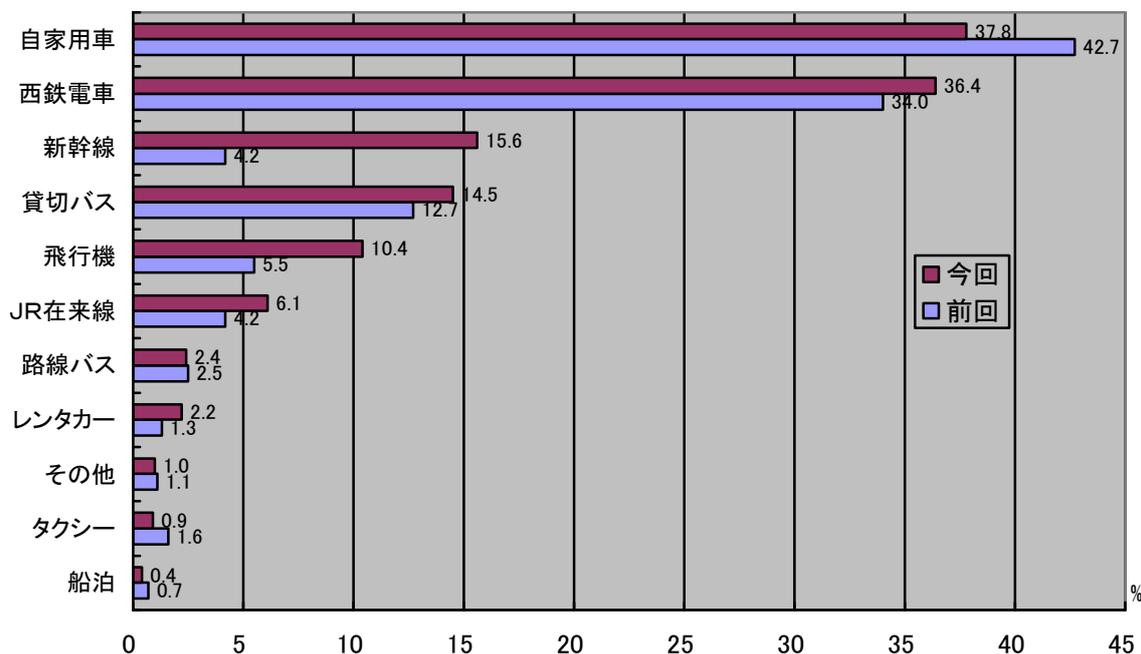
本市に到着するまでの交通手段は「自家用車」(37.8%)と「西鉄電車」(36.4%)が多い。次いで「新幹線」(15.6%)、「貸切バス」(14.5%)、「飛行機」(10.4%)の順となっている。

当地までの交通手段



前回と比較してみると「新幹線」と「飛行機」利用が大幅に増加し、それに伴って「西鉄電車」、「貸切バス」の利用も増加した。

当地までの交通手段の比較



注：今回の調査で設けた「自転車/バイク」は、前回との比較のために「その他」に分類。

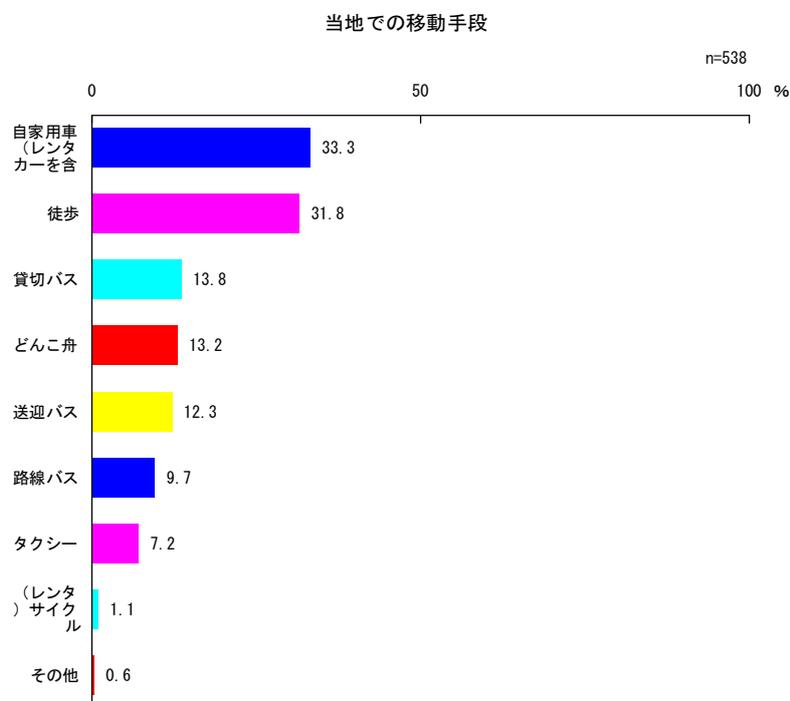
居住地 × 当地までの交通手段

上段：度数 下段：%	居住地				
	合計	福岡市内	福岡県内	九州内	九州外
合計	537	134	110	118	175
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自家用車	203	53	62	68	20
	37.8	39.6	56.4	57.6	11.4
西鉄電車	195	70	34	20	71
	36.3	52.2	30.9	16.9	40.6
貸切バス	78	4	7	20	47
	14.5	3.0	6.4	16.9	26.9
JR在来線	33	9	7	10	7
	6.1	6.7	6.4	8.5	4.0
路線バス	13	1	4	4	4
	2.4	0.7	3.6	3.4	2.3
飛行機	56	-	-	2	54
	10.4	-	-	1.7	30.9
タクシー	5	1	-	1	3
	0.9	0.7	-	0.8	1.7
レンタカー	12	2	-	3	7
	2.2	1.5	-	2.5	4.0
新幹線	84	-	-	9	75
	15.6	-	-	7.6	42.9
船舶	2	-	-	-	2
	0.4	-	-	-	1.1
自転車/バイク	3	1	2	-	-
	0.6	0.7	1.8	-	-
その他	2	1	1	-	-
	0.4	0.7	0.9	-	-

(2) 当地での移動手段

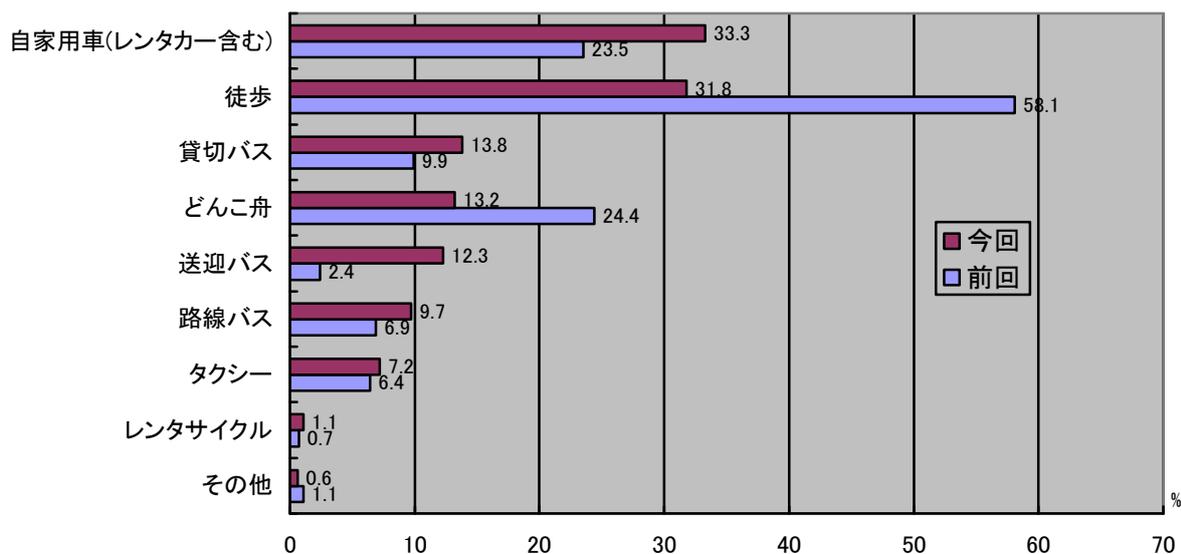
✚ 移動手段は「自家用車(レンタカーを含む)」が33.3%、「徒歩」が31.8%

本市に到着してから市内での移動手段は「自家用車(レンタカーを含む)」が33.3%と最も多い。次いで「徒歩」が31.8%、「貸切バス」が13.8%である。



前回との比較でみると、「自家用車(レンタカー含む)」と「貸切バス」、「送迎バス(乗合バス)」、「路線バス」の利用が増え、「徒歩」と答えた割合が大幅に減少した。

当地での移動手段の比較



居住地別でみると、「自家用車(レンタカー含む)」と「徒歩」を除いて、「福岡市内」は「路線バス」、「送迎バス」、「どんこ舟」、「九州内」は「貸切バス」、「九州外」は「路線バス」、「貸切バス」、「どんこ舟」の利用が相対的に多い。

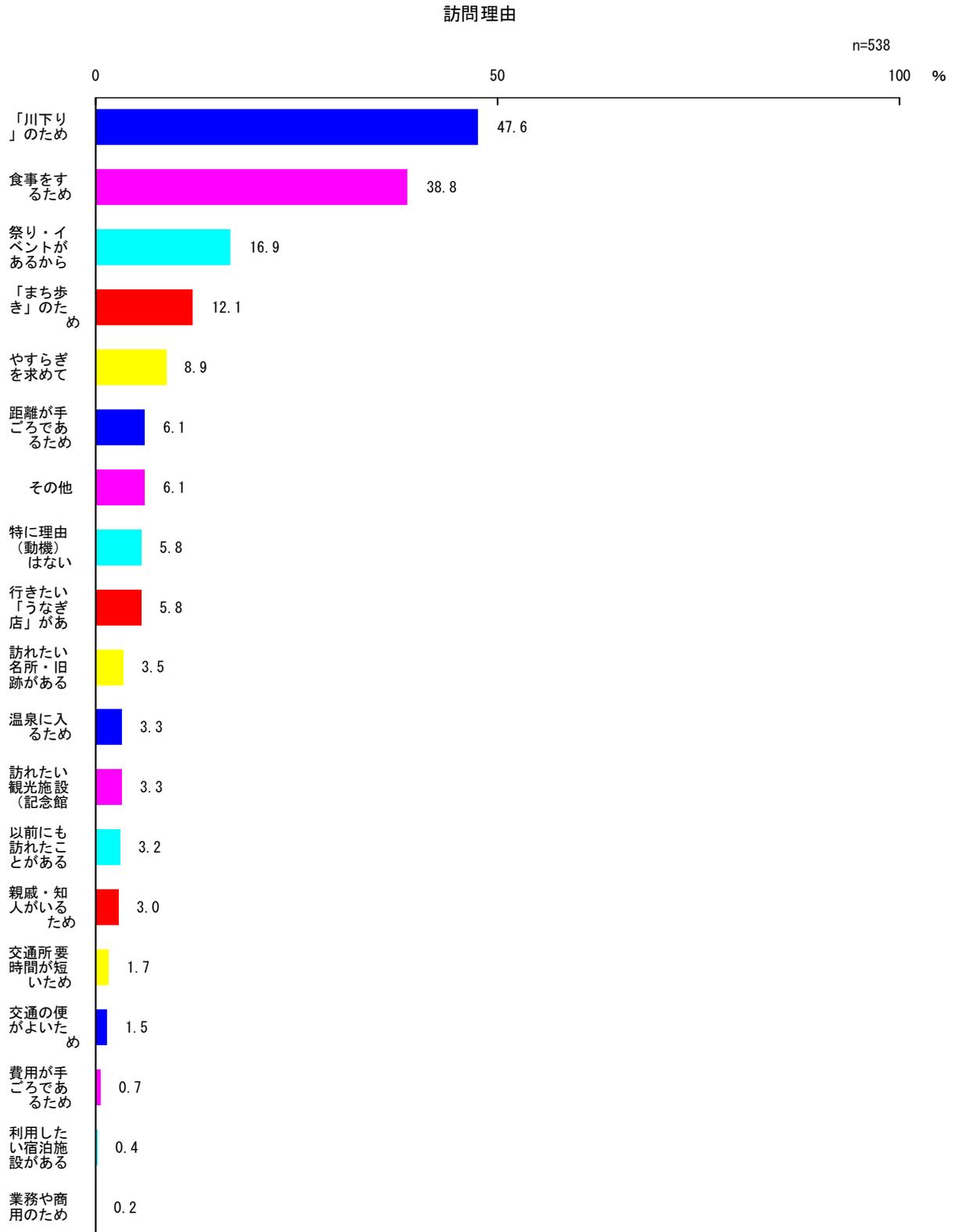
居住地×当地での移動手段

上段：度数 下段：%	居住地				
	合計	福岡市内	福岡県内	九州内	九州外
合計	536 100.0	134 100.0	110 100.0	118 100.0	174 100.0
自家用車(レンタカーを含む)	178 33.2	44 32.8	44 40.0	61 51.7	29 16.7
徒歩	170 31.7	49 36.6	43 39.1	33 28.0	45 25.9
路線バス	52 9.7	17 12.7	9 8.2	3 2.5	23 13.2
貸切バス	74 13.8	3 2.2	8 7.3	17 14.4	46 26.4
タクシー	38 7.1	12 9.0	7 6.4	7 5.9	12 6.9
送迎バス	66 12.3	26 19.4	10 9.1	10 8.5	20 11.5
どんこ舟	71 13.2	23 17.2	8 7.3	10 8.5	30 17.2
(レンタ)サイクル	6 1.1	-	1 0.9	2 1.7	3 1.7
その他	3 0.6	3 2.2	-	-	-

7. 訪問理由

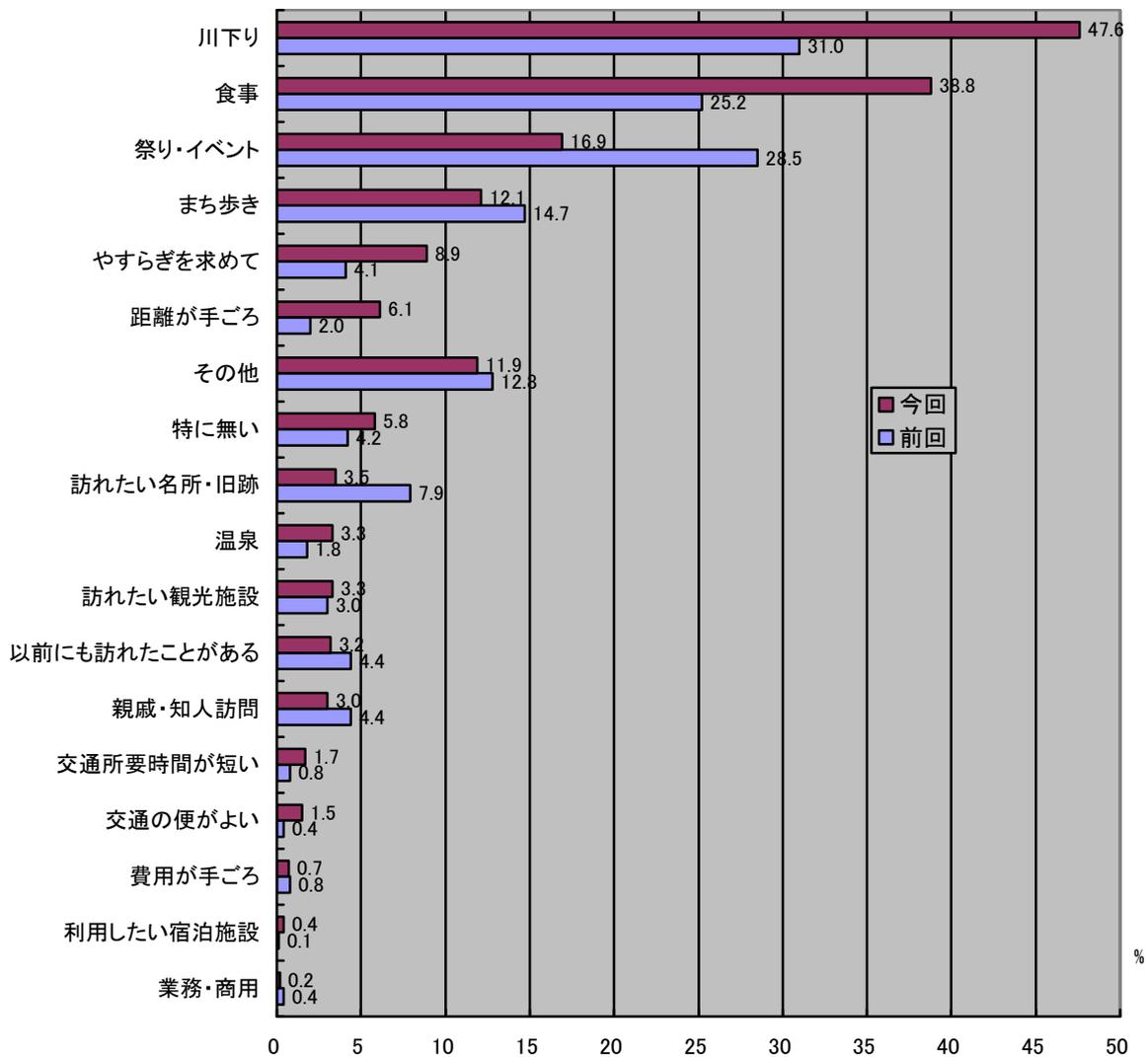
訪問理由は「川下り」(47.6%)、「食事」(38.8%)、「祭り・イベント」(16.9%)、「まち歩き」(12.1%)

「川下り」と「食事」がそれぞれ47.6%、38.8%と最も高い。他に「祭り・イベント」が16.9%、「まち歩き」が12.1%、「やすらぎを求めて」が8.9%である。



前回と比べると、「川下り」、「食事」の訪問理由が大きく伸び、「やすらぎを求めて」も増加した。一方で「祭り・イベント」と「訪れたい名所・旧跡があるため」が減少した。

訪問理由の比較

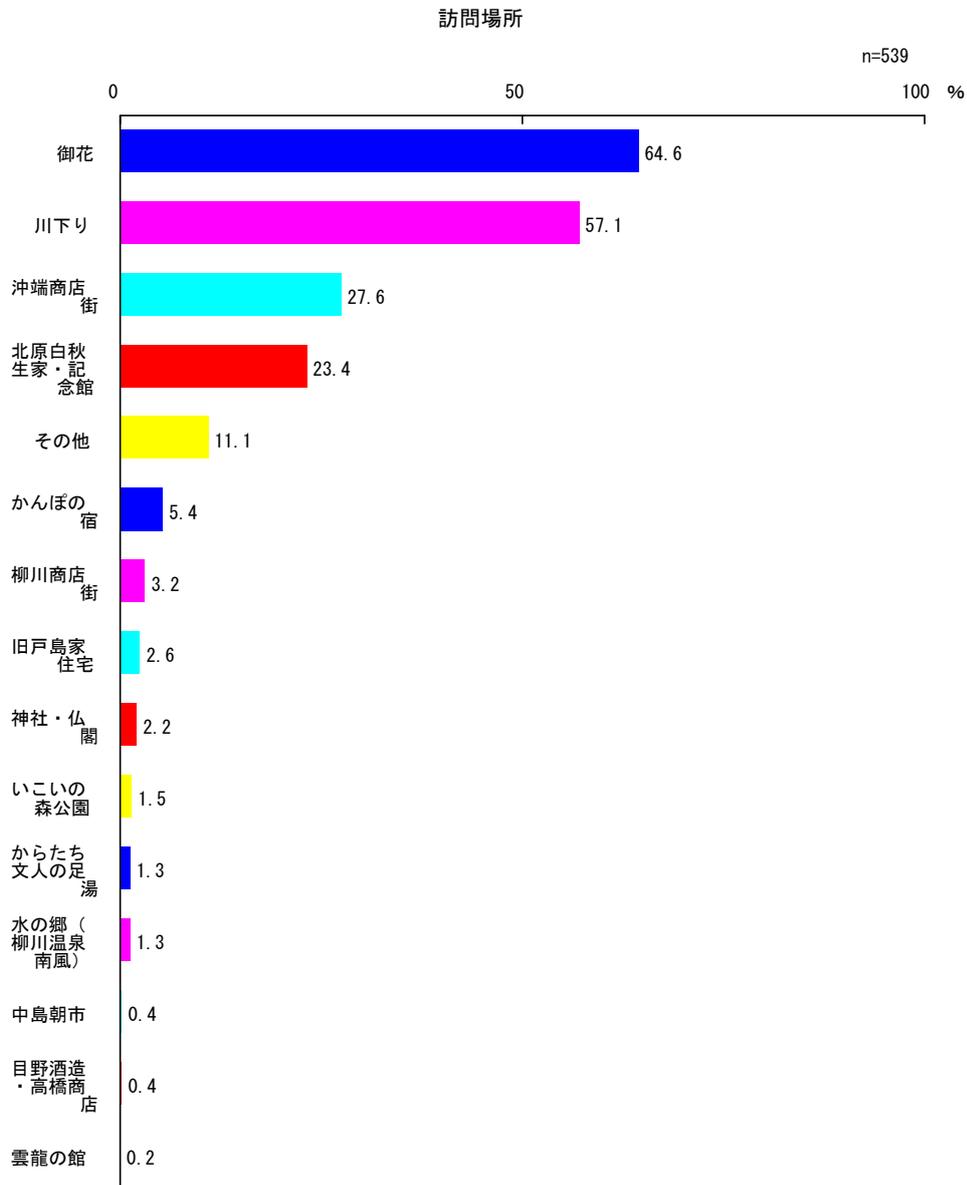


注：「その他」(11.9%)は「行きたいなぎ店があるため」(5.8%)、「有名であるから」、「バック旅行に含まれていたから」などの理由。

8. 訪問場所

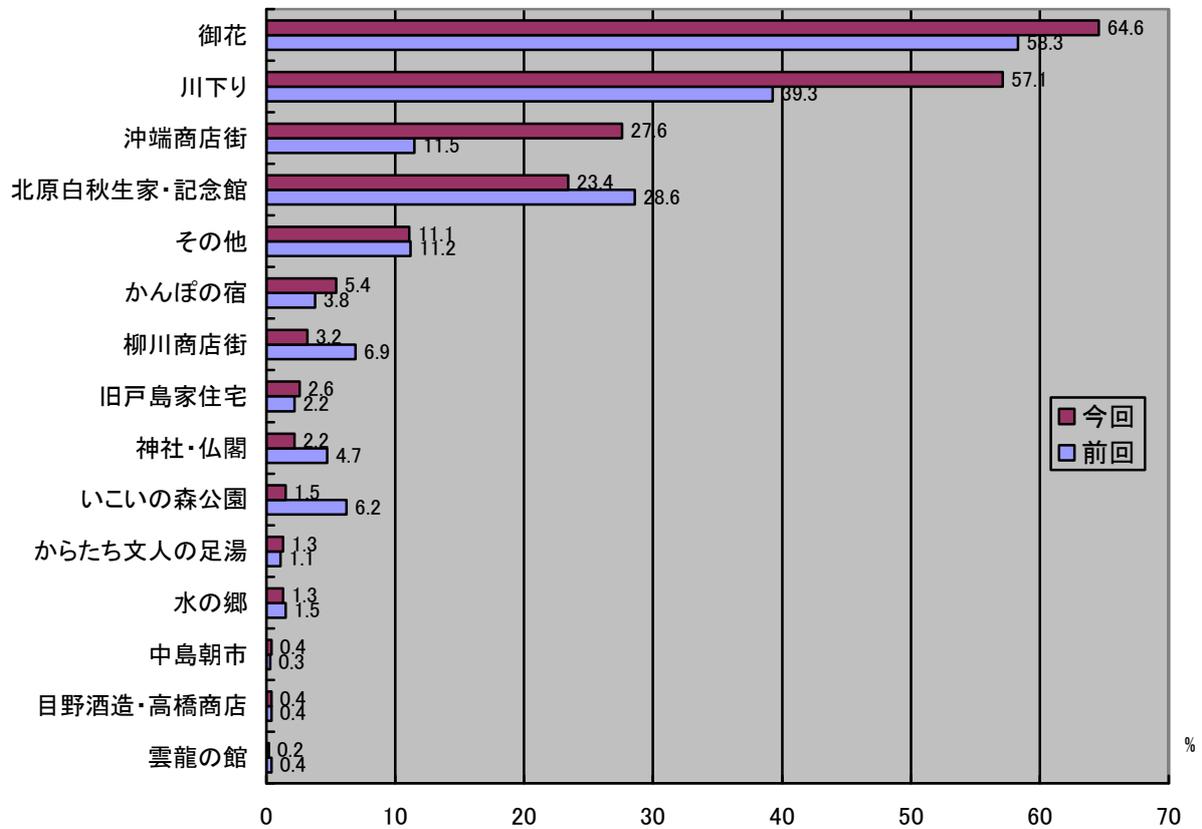
訪問場所は「御花」(64.6%)
「川下り」(57.1%)
「沖端商店街」(27.6%)、「北原白秋生家・記念館」(23.4%)

訪問先は「御花」と「川下り」が最も多く、次いで「沖端商店街」、「北原白秋生家・記念館」の順となっている。



前回と比較してみると、「川下り」が最も大きく伸びた。「沖端商店街」も大きく伸びたが、考えられる理由は、そもそも「沖端」の地名を知らない観光客が多く、今回の調査では意図的に観光客に知らせながら回答を得たからである。実際はもっと多いと考える。

訪問先の比較



9. 観光情報源

(1) 当地に関する情報源

- 「友人・知人の話」(16.7%)
- 「旅行・ガイドブック」(15.4%)
- 「家族・親戚の話」(13.2%)

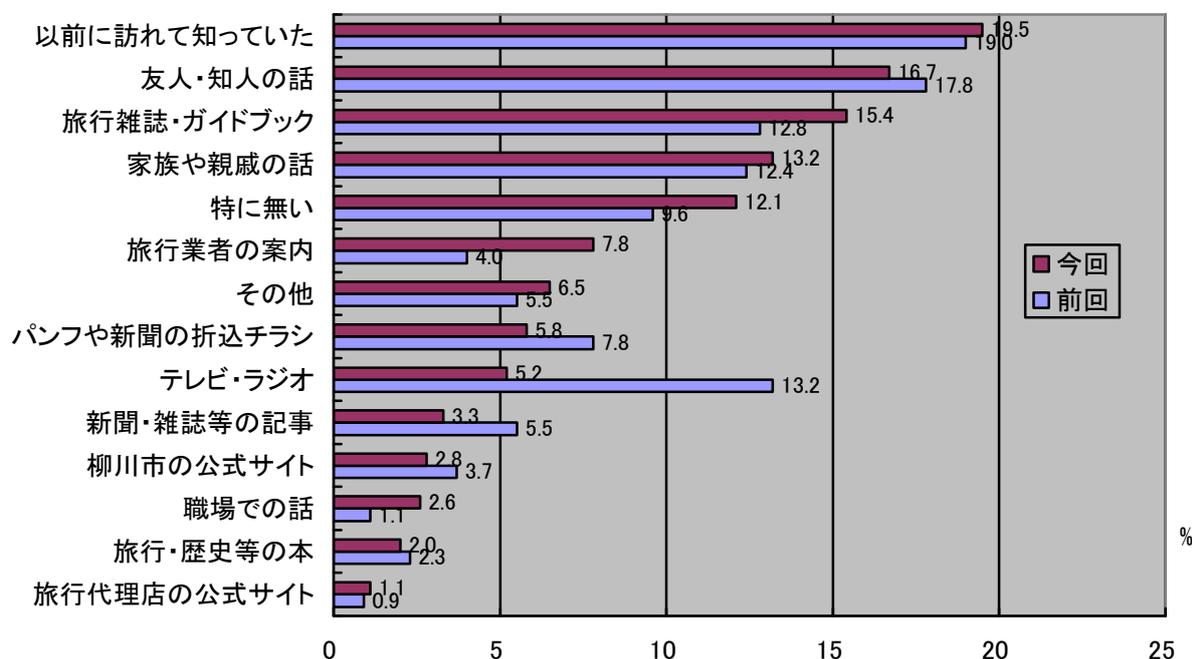
リピーターが多いため「以前に訪れ知っていた」が19.5%で最も多い。他は「友人・知人の話」が16.7%、「旅行雑誌・ガイドブック」が15.4%、「家族や親戚の話」が13.2%となっている。

全体的に口コミが多い（「友人・知人の話」(16.7%)、「家族や親戚の話」(13.2%)、「職場での話」(2.6%)）。



前回と比較してみると、「旅行雑誌・ガイドブック」、「旅行者の案内」が伸び、「パンフや新聞の折込チラシ」、「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌等の記事」が減少した。

当地に関する観光情報源の比較

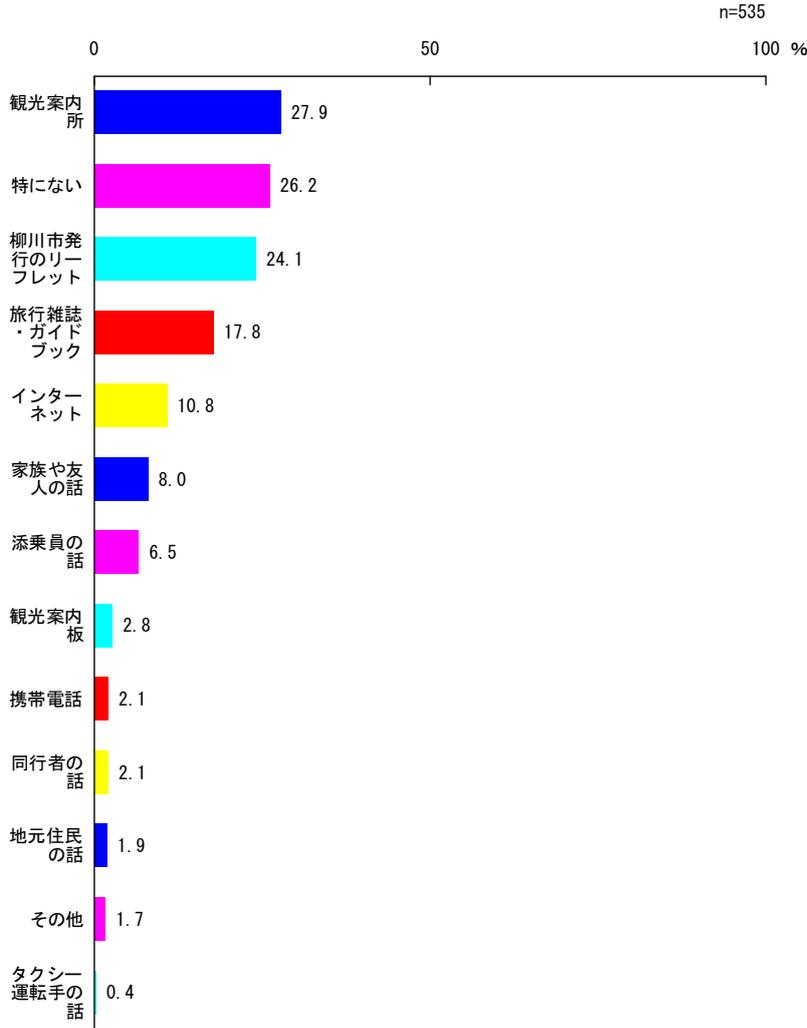


(2) 当地での情報源

- 📍 「観光案内所」 (27.9%)
- 📄 「リーフレット」 (24.1%)
- 📖 「旅行雑誌・ガイドブック」 (17.8%)
- 🌐 「インターネット」 (10.8%)

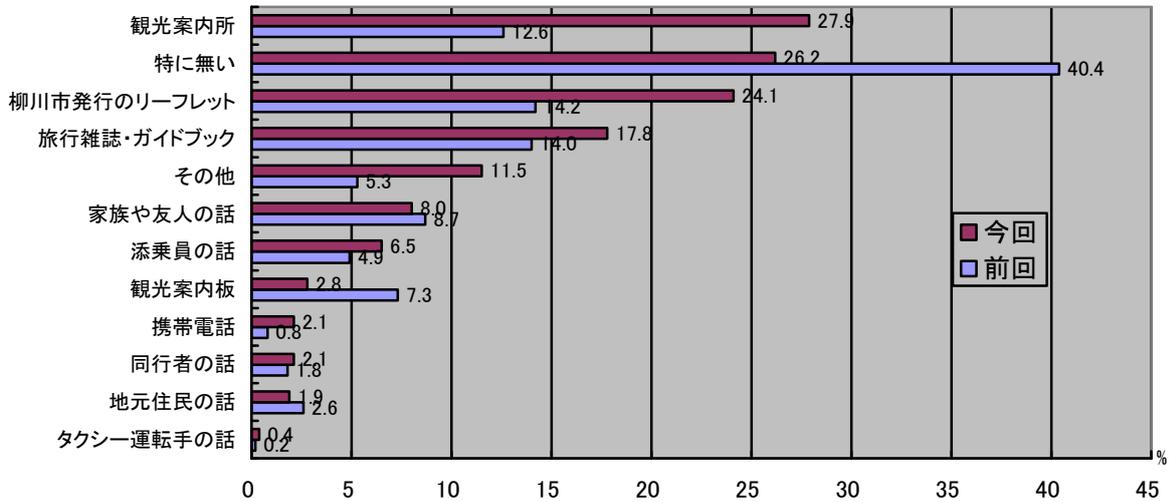
市内での観光情報の収集は「観光案内所」が 27.9%と最も多い。「特にない」が 26.2%と多いが、「柳川市発行のリーフレット等」が 24.1%、「旅行雑誌・ガイドブック」が 17.8%、「インターネット」が 10.8%となっている。

当地での情報源



前回との比較では、「観光案内所」、「柳川市発行のリーフレット」、「その他」（主にインターネット利用）が大きく伸びている。

当地での観光情報源の比較



注：その他には今回初めて選択肢に加えた「インターネット」（10.8%）が含まれている。

10. 立ち寄り先

(1) 往路

- ✚ 「直接来た」が70.8%
- ✚ 立ち寄る割合は29.2%
- ✚ 立ち寄り先は「福岡県」(22.9%) (「福岡市」(13.7%)、「太宰府天満宮」(4.0%))

本市を訪れる前に立ち寄った場所は「ない」が70.8%である。立ち寄るところを県別にみると、「福岡県」が22.9%、「熊本県」が5.8%、「大分県」が4.6%である。「福岡県」では「福岡市」(13.7%)が最も多く、次に「太宰府天満宮」(4.0%)である。「熊本県」では「熊本市」(2.7%)が、「大分県」では「湯布院」(1.6%)、「別府」(1.3%)が他より多い。

前回と比べてみると、立ち寄り率は変わらないが、福岡県を除いてすべての県で減少し、「福岡市」(11.5%→13.7%)、「熊本市」(1.3%→2.7%)が若干であるが増加した。

立ち寄り先		今回	前回
直接来た →		70.8	70.8
福岡県 ↑	福岡市	13.7	11.5
	北九州市	1.3	1.2
	太宰府天満宮	4.0	4.0
	八女市	0.8	2.3
	その他の福岡県	3.1	2.8
	合計	22.9	21.8
佐賀県 ↓	吉野ヶ里	0.8	0.8
	伊万里市	0.2	0.4
	佐賀市	1.5	2.2
	武雄市	0.4	0.2
	その他の佐賀県	0.6	0.9
	合計	3.5	4.5
長崎県 ↓	ハウステンボス	0.6	0.6
	長崎市	1.5	2.0
	島原市	0.2	0.4
	雲仙	0.4	0.6
	その他の長崎県	0.4	0.4
	合計	3.1	4.0
熊本県 ↓	黒川	0.8	1.2
	阿蘇	1.9	3.2
	山鹿市	0.0	0.2
	熊本市	2.7	1.3
	その他の熊本県	0.4	0.6
	合計	5.8	6.5
大分県 ↓	別府	1.3	2.5
	湯布院	1.5	2.6
	夢の大吊橋	0.6	0.6
	大分市	0.6	0.6
	日田市	0.4	0.9
	その他の大分県	0.2	0.1
	合計	4.6	7.3
宮崎県 ↓	宮崎市	0.0	0.4
	その他の宮崎県	0.0	0.6
	合計	0.0	1.0
鹿児島県 →	鹿児島市	0.4	0.1
	その他の鹿児島市	0.0	0.4
	合計	0.4	0.5

居住地別でみると、「九州外」は「福岡市」、「太宰府天満宮」、「長崎市」、「阿蘇」、「熊本市」、「別府」、「湯布院」への立ち寄り率が他の居住地と比べて高い。

居住地×立ち寄り先(往路)

上段: 度数 下段: %	居住地				
	合計	福岡市内	福岡県内	九州内	九州外
合計	522	134	110	117	161
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接来た	370	124	99	85	62
	70.9	92.5	90.0	72.6	38.5
福岡市	72	3	2	9	58
	13.8	2.2	1.8	7.7	36.0
北九州市	7	-	-	1	6
	1.3	-	-	0.9	3.7
太宰府天満宮	21	1	1	1	18
	4.0	0.7	0.9	0.9	11.2
八女市	4	3	-	1	-
	0.8	2.2	-	0.9	-
福岡県その他	16	1	4	5	6
	3.1	0.7	3.6	4.3	3.7
吉野ヶ里	4	-	-	2	2
	0.8	-	-	1.7	1.2
伊万里市	1	-	-	-	1
	0.2	-	-	-	0.6
佐賀市	8	1	1	3	3
	1.5	0.7	0.9	2.6	1.9
武雄市	2	-	-	-	2
	0.4	-	-	-	1.2
佐賀県その他	2	-	-	-	2
	0.4	-	-	-	1.2
ハウステンボス	3	1	-	2	-
	0.6	0.7	-	1.7	-
長崎市	8	-	-	1	7
	1.5	-	-	0.9	4.3
島原市	1	-	-	-	1
	0.2	-	-	-	0.6
雲仙	2	-	-	-	2
	0.4	-	-	-	1.2
長崎県その他	2	-	-	1	1
	0.4	-	-	0.9	0.6
黒川	4	1	-	3	-
	0.8	0.7	-	2.6	-
阿蘇	10	-	-	3	7
	1.9	-	-	2.6	4.3
山鹿市	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
熊本市	14	-	1	6	7
	2.7	-	0.9	5.1	4.3
熊本県その他	2	-	-	1	1
	0.4	-	-	0.9	0.6
別府	7	-	-	1	6
	1.3	-	-	0.9	3.7
湯布院	8	1	-	-	7
	1.5	0.7	-	-	4.3
夢の大吊橋	3	1	-	-	2
	0.6	0.7	-	-	1.2
大分市	3	-	-	-	3
	0.6	-	-	-	1.9
日田市	2	-	2	-	-
	0.4	-	1.8	-	-
大分県その他	1	-	-	-	1
	0.2	-	-	-	0.6
宮崎市	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
宮崎県その他	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
鹿児島市	2	-	-	-	2
	0.4	-	-	-	1.2
鹿児島県その他	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

立ち寄り先

(2) 復路

- ✚ 「このまま帰宅」が60.3%
- ✚ 立ち寄る割合は39.7%
- ✚ 立ち寄り先は「福岡県」(29.9%) (「福岡市」(18.0%)、「太宰府天満宮」(7.4%))

帰りに立ち寄る場所は「ない」が60.3%である。立ち寄り先を県別にみると、「福岡県」が29.9%、「大分県」が6.5%、「熊本県」が6.0%、「長崎県」が4.5%である。「福岡県」では「福岡市」(18.0%)が最も多く、次に「太宰府天満宮」(7.4%)となっている。「熊本県」では「熊本市」(2.6%)、黒川(2.1%)、「大分県」では「別府」と「湯布院」がそれぞれ1.9%となっている。

前回と比較してみると、復路の立ち寄る割合は前回より9.2%増え、「佐賀県」を除くすべての県で増加した。特に「福岡市」(10.3%→18.0%)、「太宰府天満宮」(5.9%→7.4%)、「黒川」(0.7%→2.1%)、「夢の大吊橋」(0.3%→1.5%)、「鹿児島市」(0.2%→0.8%)が増えた。

立ち寄り先		今回	前回
このまま帰宅 ↓		60.3	69.5
福岡県 ↑	福岡市	18.0	10.3
	北九州市	0.9	0.8
	太宰府天満宮	7.4	5.9
	八女市	0.8	1.4
	その他の福岡県	2.8	3.0
	合計	29.9	21.4
佐賀県 →	吉野ヶ里	0.2	0.4
	伊万里市	0.0	0.2
	佐賀市	0.9	1.2
	武雄市	0.0	0.1
	その他の佐賀県	1.9	1.1
	合計	3.0	3.0
長崎県 ↑	ハウステンボス	0.6	0.1
	長崎市	1.9	2.1
	島原市	0.4	0.6
	雲仙	0.8	0.1
	その他の長崎県	0.8	0.5
	合計	4.5	3.4
熊本県 ↑	黒川	2.1	0.7
	阿蘇	1.9	1.8
	山鹿市	0.2	0.5
	熊本市	2.6	1.5
	その他の熊本県	0.2	0.4
	合計	6.0	4.9
大分県 ↑	別府	1.9	1.5
	湯布院	1.9	1.5
	夢の大吊橋	1.5	0.3
	大分市	0.8	0.1
	日田市	0.4	0.5
	その他の大分県	0.0	0.1
	合計	6.5	4.0
宮崎県 →	宮崎市	0.2	0.1
	その他の宮崎県	0.2	0.1
	合計	0.4	0.2
鹿児島県 ↑	鹿児島市	0.8	0.2
	その他の鹿児島市	0.2	0.1
	合計	1.0	0.3

居住地別でみると、「九州外」の場合、「福岡市」、「太宰府天満宮」、「熊本市」、「長崎市」、「その他の長崎県」、「別府」、「湯布院」、「夢の大吊橋」への立ち寄り率が他と比べて高い。

居住地×立ち寄り先(復路)

上段: 度数 下段: %	居住地				
	合計	福岡市内	福岡県内	九州内	九州外
合計	527 100.0	134 100.0	110 100.0	118 100.0	165 100.0
このまま帰宅	317 60.2	108 80.6	96 87.3	69 58.5	44 26.7
福岡市	95 18.0	12 9.0	9 8.2	17 14.4	57 34.5
北九州市	5 0.9	-	1 0.9	-	4 2.4
太宰府天満宮	39 7.4	4 3.0	-	6 5.1	29 17.6
八女市	4 0.8	2 1.5	1 0.9	1 0.8	-
その他の福岡県	15 2.8	5 3.7	-	5 4.2	5 3.0
吉野ヶ里	1 0.2	-	-	-	1 0.6
伊万里市	-	-	-	-	-
佐賀市	5 0.9	-	1 0.9	3 2.5	1 0.6
武雄市	-	-	-	-	-
その他の佐賀県	10 1.9	1 0.7	1 0.9	5 4.2	3 1.8
ハウステンボス	3 0.6	-	-	2 1.7	1 0.6
長崎市	10 1.9	-	-	2 1.7	8 4.8
島原市	2 0.4	-	-	-	2 1.2
雲仙	4 0.8	-	-	1 0.8	3 1.8
その他の長崎県	4 0.8	-	-	-	4 2.4
黒川	11 2.1	1 0.7	-	2 1.7	8 4.8
阿蘇	10 1.9	1 0.7	-	3 2.5	6 3.6
山鹿市	1 0.2	-	-	1 0.8	-
熊本市	14 2.7	1 0.7	-	3 2.5	10 6.1
その他の熊本県	1 0.2	-	-	1 0.8	-
別府	10 1.9	-	-	2 1.7	8 4.8
湯布院	10 1.9	1 0.7	-	1 0.8	8 4.8
夢の大吊橋	8 1.5	-	1 0.9	-	7 4.2
大分市	4 0.8	-	-	-	4 2.4
日田市	2 0.4	-	-	2 1.7	-
その他の大分県	-	-	-	-	-
宮崎市	1 0.2	-	-	-	1 0.6
その他の宮崎県	1 0.2	-	-	-	1 0.6
鹿児島市	4 0.8	-	-	-	4 2.4
その他の鹿児島市	1 0.2	-	-	-	1 0.6

立ち寄り先(復路)

11. 観光消費額

- ✚ 「1人当たりの観光消費額」は
 - 「宿泊費」11,996円
 - 「飲食費」2,614円
 - 「おみやげ費」3,183円
 - 「交通費」1,281円
 - 「川下り」1,425円
 - 「入場・観覧・利用料等」594円

1人当たりの観光消費額を項目別で見ると、前回と大きな増減はないが、「おみやげ費」が前回より約500円多くなっている。

	今回		前回	
	利用率	平均消費額(円)	利用率	平均消費額(円)
宿泊費	4.8	11,996	4.6	11,540
飲食費	76.8	2,614	68.5	2,650
おみやげ費	35.6	3,183	36.9	2,650
交通費	22.8	1,281	18.1	1,340
乗船費	51.4	1,425	32.5	1,410
入場・観覧・利用料等	21.5	594	19.6	610

注：アンケート割合は、アンケート票に消費額を記入した観光客数の割合。

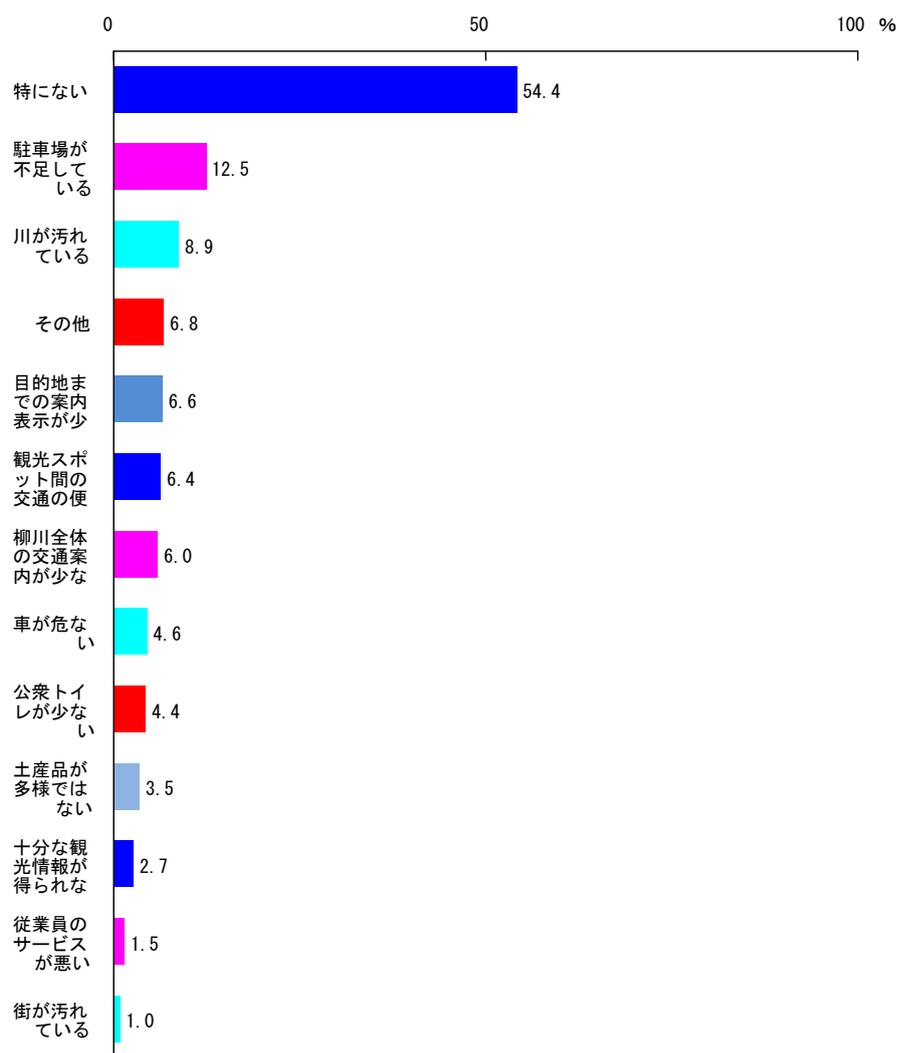
12. 不満要素

- ✚ 施設不足（駐車場（12.5%）、公衆トイレ（4.4%））
- ✚ 景観（川の汚れ（8.9%）、街の汚れ（1.0%））
- ✚ サイン（目的地までの案内標示が不足（6.6%）、交通案内の不足（6.0%））
- ✚ スポット間の交通の便が悪い（6.4%）

本市での観光で感じた不満要素は「特になし」が54.4%が多いが、不満に感じた項目の中では「駐車場が不足している」が12.5%、「川が汚れている」が8.9%、「目的地までの案内標示が少ない」が6.6%、「観光スポット間の交通の便の悪さ」が6.4%を占めている。

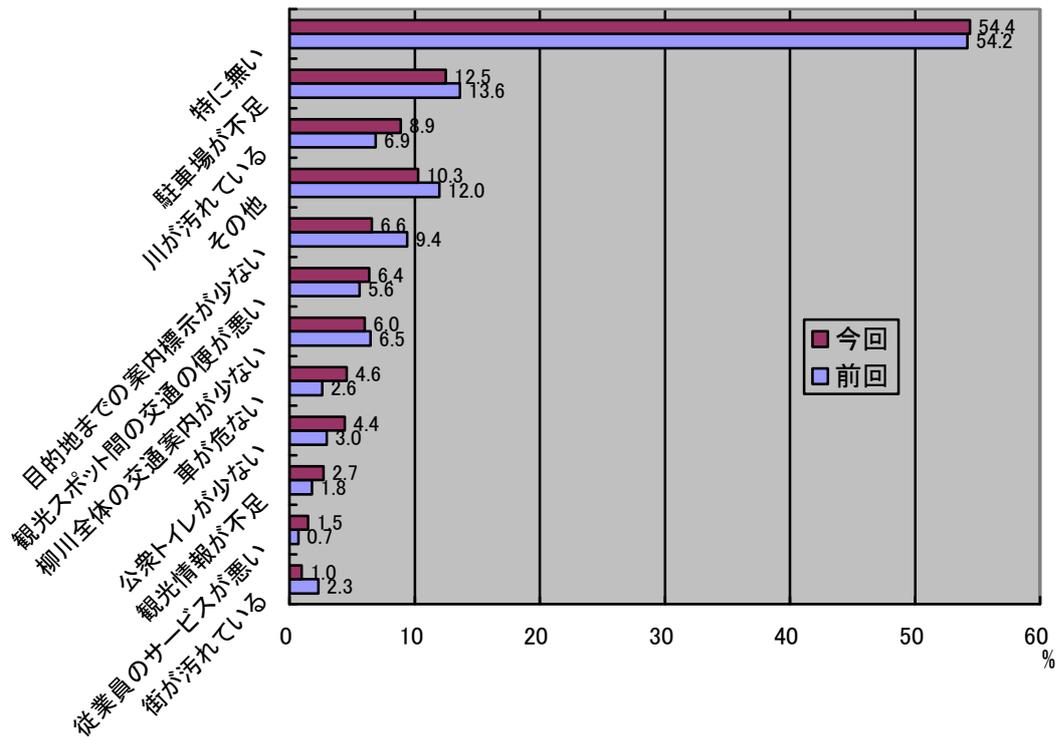
不満要素

n=518



前回との比較でみると、「川が汚れている」、「観光スポット間の交通の便が悪い」、「車が危ない」、「公衆トイレが少ない」、「観光情報が不足」が増え、景観、アメニティに関する項目が目立つ。

不満要素の比較



注：「その他」には、「土産品が多様ではない」（3.5%）が含まれている。

居住地別の不満要素は、いずれも「特にない」が多いが、あると答えた中には、車利用が多い「福岡市内」、「福岡県内」、「九州内」の居住者は「駐車場が不足している」が最も多く、「九州外」の居住者は「川が汚れている」が最も多い。

居住地×不満要素

上段：度数 下段：%	合計	居住地			
		福岡市内	福岡県内	九州内	九州外
合計	516 100.0	130 100.0	106 100.0	112 100.0	168 100.0
駐車場が不足している	65 12.6	15 11.5	23 21.7	22 19.6	5 3.0
観光スポット間の交通の便が悪い	32 6.2	8 6.2	7 6.6	7 6.3	10 6.0
柳川全体の交通案内が少ない	31 6.0	7 5.4	6 5.7	9 8.0	9 5.4
目的地までの案内表示が少ない	34 6.6	6 4.6	9 8.5	11 9.8	8 4.8
十分な観光情報が得られない	14 2.7	6 4.6	2 1.9	1 0.9	5 3.0
従業員のサービスが悪い	8 1.6	2 1.5	2 1.9	4 3.6	-
公衆トイレが少ない	23 4.5	1 0.8	7 6.6	7 6.3	8 4.8
街が汚れている	5 1.0	1 0.8	-	1 0.9	3 1.8
川が汚れている	46 8.9	6 4.6	11 10.4	10 8.9	19 11.3
車が危ない	24 4.7	9 6.9	4 3.8	6 5.4	5 3.0
土産品が多様ではない	18 3.5	4 3.1	4 3.8	7 6.3	3 1.8
その他	35 6.8	4 3.1	12 11.3	10 8.9	9 5.4
特にない	281 54.5	80 61.5	50 47.2	47 42.0	104 61.9

年齢別でみると、いずれも「特にない」が多いが、あると答えた中には、「駐車場が不足している」が全体的に多く、「20歳未満」、「20歳代」、「70歳代」は「川が汚れている」と答えた割合が高い。また「20歳未満」、「50歳代」、「70歳代」は「目的地までの案内標示が少ない」の割合が高い。

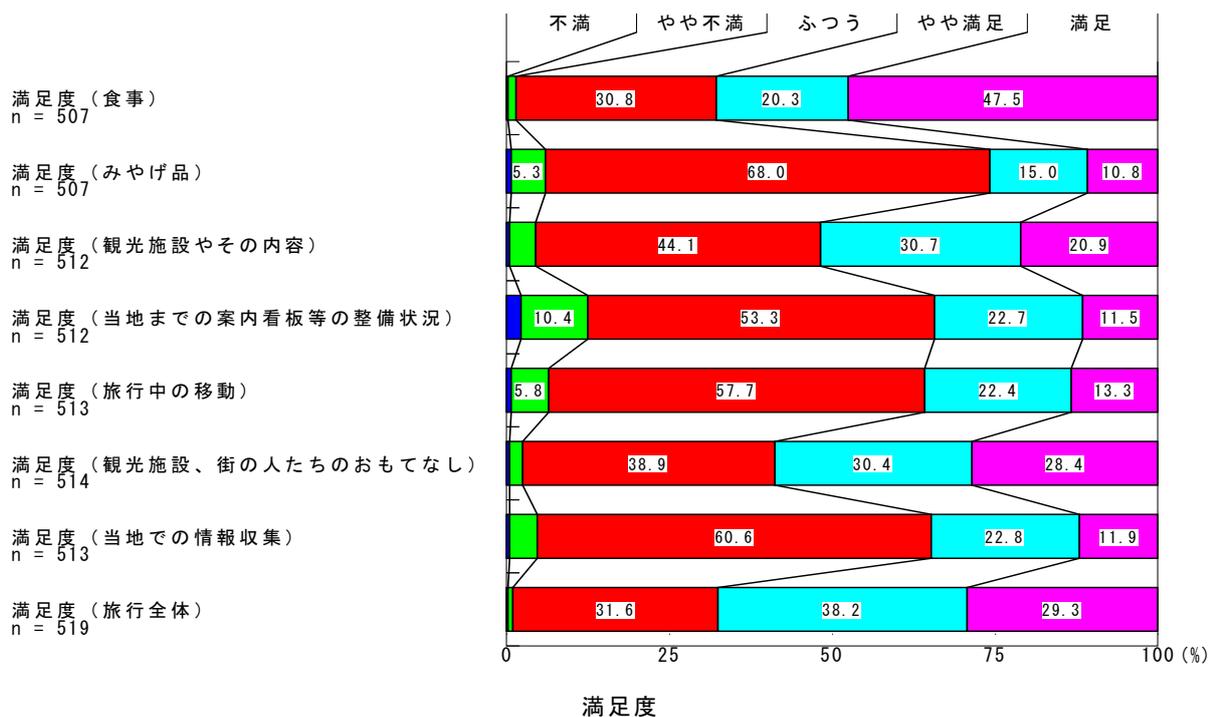
年齢×不満要素

上段：度数 下段：%	合計	年齢							
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
合計	516 100.0	9 100.0	114 100.0	97 100.0	81 100.0	93 100.0	76 100.0	37 100.0	9 100.0
不満要素									
駐車場が不足している	65 12.6	1 11.1	12 10.5	15 15.5	14 17.3	11 11.8	6 7.9	6 16.2	-
観光スポット間の交通の便が悪	33 6.4	-	5 4.4	9 9.3	4 4.9	4 4.3	10 13.2	1 2.7	-
柳川全体の案内が少ない	30 5.8	-	5 4.4	8 8.2	3 3.7	7 7.5	4 5.3	3 8.1	-
目的地までの案内表示が少ない	33 6.4	2 22.2	3 2.6	7 7.2	3 3.7	10 10.8	4 5.3	4 10.8	-
十分な観光情報が得られない	14 2.7	1 11.1	1 0.9	2 2.1	2 2.5	3 3.2	3 3.9	2 5.4	-
従業員のサービスが悪い	8 1.6	-	1 0.9	2 2.1	2 2.5	1 1.1	2 2.6	-	-
公衆トイレが少ない	23 4.5	1 11.1	6 5.3	1 1.0	2 2.5	7 7.5	6 7.9	-	-
街が汚れている	5 1.0	-	1 0.9	-	1 1.2	1 1.1	1 1.3	1 2.7	-
川が汚れている	46 8.9	2 22.2	12 10.5	9 9.3	8 9.9	7 7.5	4 5.3	4 10.8	-
車が危ない	24 4.7	1 11.1	4 3.5	3 3.1	3 3.7	5 5.4	5 6.6	3 8.1	-
土産品が多様ではない	18 3.5	-	4 3.5	3 3.1	2 2.5	7 7.5	2 2.6	-	-
その他	35 6.8	3 33.3	5 4.4	3 3.1	5 6.2	11 11.8	7 9.2	1 2.7	-
特にない	281 54.5	3 33.3	69 60.5	48 49.5	44 54.3	45 48.4	40 52.6	23 62.2	9 100.0

13. 満足度

- 🚩 “やや満足” “満足” の割合は
- 「旅行全体」 67.5%
- 「食事」 67.9%
- 「みやげ品」 25.8%
- 「観光施設やその内容」 51.6%
- 「当地までの案内看板などの整備状況」 34.3%
- 「旅行中の移動」 35.7%
- 「観光施設、街の人たちのおもてなし」 58.8%
- 「当地での情報収集」 34.7%

“満足” または “やや満足” と答えた割合は、「旅行全体」が 67.5% で他の項目の割合と比べて高い。項目別では「食事」が一番高い 67.9%、次いで「観光施設、街の人たちのおもてなし」が 58.8% である。他項目は、「観光施設やその内容」が 51.6% であるが、「みやげ品」 25.8%、「当地までの案内看板などの整備状況」 34.3%、「旅行中の移動」 35.7%、「当地での情報収集」 34.7% と低い。

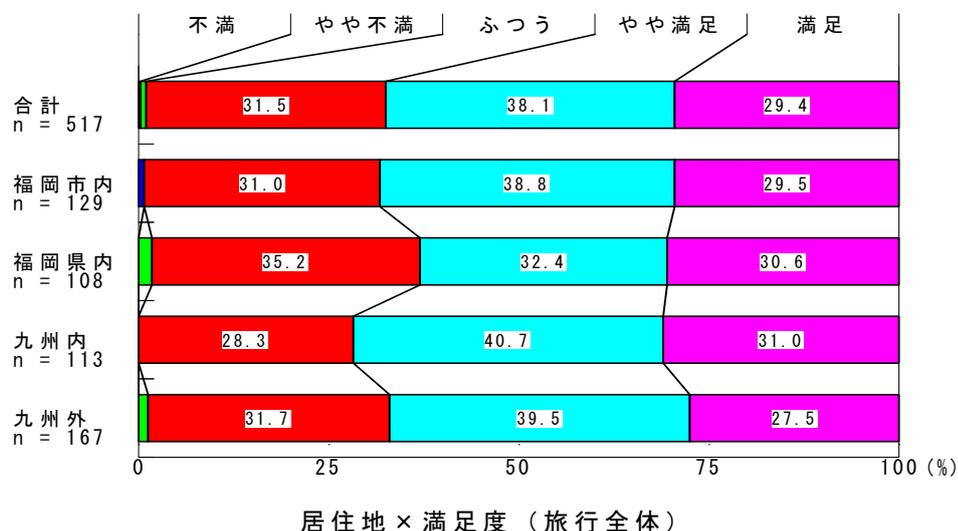


前回との比較では、「旅行全体」と「食事」、「観光施設やその内容」、「観光施設、街の人たちのおもてなし」がプラス、「みやげ品」、「当地までの案内看板などの整備状況」、「旅行中の移動」、「当地での情報収集」が前回よりマイナスとなっている。

満足度（「やや満足」＋「満足」）の比較

	今回	前回	前回との差
食事	67.8	59.2	8.6
みやげ品	25.8	37.2	▲11.4
観光施設やその内容	51.6	42.6	9.0
当地までの案内看板などの整備状況	34.2	36.4	▲2.2
旅行中の移動	35.7	37.3	▲1.6
観光施設、街の人たちのおもてなし	58.8	54.2	4.6
当地での情報収集	34.7	35.0	▲0.3
旅行全体	67.5	62.1	5.4

居住地別でみると、「福岡市内」と「九州内」の満足度は平均を上回っているが、「福岡県内」と「九州外」は下回っており、特に「福岡県内」の満足度が低い。



旅行全体への影響度を統計学的にみると、旅行全体に及ぼす影響は、「観光施設とその内容」が最も大きく、次に「観光施設、街の人たちのおもてなし」、「食事」、「当地での情報収集」の順となっている。

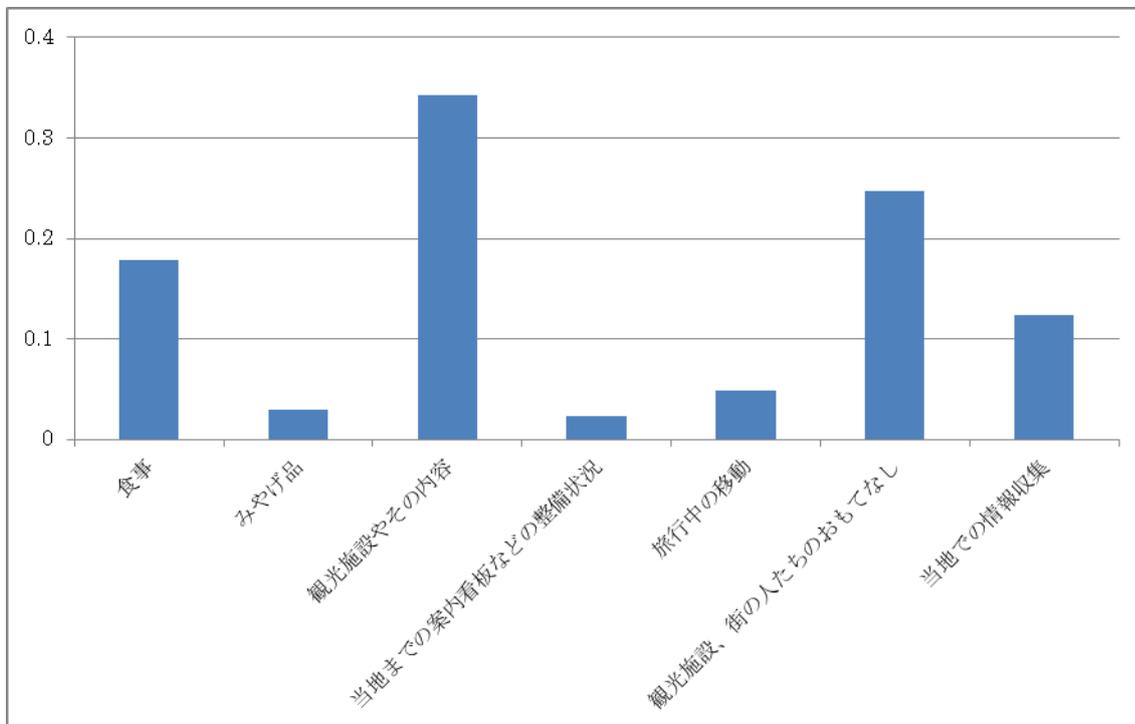
係数^a

モデル	非標準化係数		標準化係数	t	有意確率
	B	標準誤差	ベータ		
1 (定数)	-2.589E-15	.033		.000	1.000
Z 得点(食事)	.179	.036	.179	5.033	.000
Z 得点(みやげ品)	2.970E-02	.038	.030	.777	.438
Z 得点(観光施設)	.343	.040	.343	8.542	.000
Z 得点(案内看板)	2.264E-02	.043	.023	.533	.595
Z 得点(移動環境)	4.895E-02	.042	.049	1.156	.248
Z 得点(おもてなし)	.247	.038	.247	6.472	.000
Z 得点(観光情報)	.124	.042	.124	2.916	.004

a. 従属変数: Z 得点(旅行全体)

表 旅行全体への影響

説明変量	標準偏回帰係数
食事	0.179
みやげ品	0.030
観光施設やその内容	0.343
当地までの案内看板などの整備状況	0.023
旅行中の移動	0.049
観光施設、街の人たちのおもてなし	0.247
当地での情報収集	0.124



アンケートご協力をお願い

この調査は、皆様の率直なご意見をいただき、これからの柳川観光のあり方や観光地として求められていること等、観光施策の基礎資料とするために行うものです。

平成23年 月 日
柳川市観光課

問1 あなたのお住まいはどちらですか。(〇は1つだけ)

1. 福岡市
2. 福岡市以外の福岡県 () 市町村)
3. 福岡県以外の九州 () 県)
4. 九州以外の地域 都道府県名: ()

問2 今回の旅行は何人で来られましたか。(〇は1つだけ)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人以上 () 人)

問3 今回の旅行は誰と一緒ですか。(〇はいくつでも)

1. 個人
2. 夫婦
3. 親
4. 子ども
5. 祖父母
6. 親戚
7. 友人・知人
8. 姉妹・兄弟
9. 彼氏、彼女
10. 職場・業務関係者
11. 学校団体
12. その他の団体 (招待旅行、町内会など)
13. その他 ()

問4 今回の旅行形態は次のどれですか。(〇は1つだけ)

1. 個人旅行
2. 団体旅行
3. 日帰りバスツアー
4. その他 ()

問5 今回の旅行の日程はどうなっていますか。(〇は1つだけ)

1. 日帰り
2. 宿泊 ⇒旅行全体で () 泊 うち、柳川市内で () 泊
(ご利用の宿泊施設名)

問6 柳川へ来るのは何回目ですか (〇は1つだけ)

1. 初めて
2. 2回目
3. 3回目
4. 4回以上

問7 当地までの主な交通手段は何ですか (〇は2つまで)

1. 自家用車
2. 西鉄電車
3. 貸切バス
4. JR 在来線
5. 路線バス
6. 飛行機
7. タクシー
8. レンタカー
9. 新幹線
10. 船舶
11. 自転車/バイク
12. その他 ()

問8 当地での主な移動手段は何ですか (〇は2つまで)

1. 自家用車 (レンタカーを含む)
2. 徒歩
3. 路線バス
4. 貸切バス
5. タクシー
6. 送迎バス
7. どんこ舟
8. (レンタ) サイクル
9. その他 ()

問9 今回、当地を訪れた理由 (動機) は何ですか (〇は主なものを3つまで)

1. 祭り・イベントがあるため
2. 「まち歩き」のため
3. 「川下り」のため
4. 温泉に入るため
5. 食事をするため
6. やすらぎを求めて
7. 訪れたい名所・旧跡があるから
8. 訪れたい観光施設 (記念館等) があるから
9. 利用したい宿泊施設があるから
10. 交通の便がよいため
11. 交通所要時間が短いため
12. 距離が手ごろであるため
13. 費用が手ごろであるため
14. 業務や商用のため
15. 以前にも訪れたことがあるため
16. 親戚・知人がいるため
17. 特に理由 (動機) はない
18. 行きたい「うなぎ店」がある
19. その他 ()

問10 当地でどちらに行かれますか (行かれましたか) (〇はいくつでも)

1. 御花
2. 北原白秋生家・記念館
3. 旧戸島家住宅
4. 神社・仏閣 ()
5. 中島朝市
6. 雲龍の館
7. いこいの森公園
8. からたち文人の足湯
9. かんぼの宿
10. 川下り
11. 水の郷 (柳川温泉南風)
12. 目野酒造・高橋商店
13. 柳川商店街
14. 沖端商店街
15. その他 ()

問11 当地訪問のきっかけとなった情報源は何ですか。(〇は主なものを3つまで)

1. 家族や親戚の話
2. 友人・知人の話
3. 職場での話
4. 旅行雑誌・ガイドブック
5. パンプや新聞の折込チラシ
6. 新聞・雑誌等の記事
7. テレビ・ラジオ
8. 旅行業者の案内
9. 旅行代理店の公式サイト
10. 柳川市の公式サイト
11. 旅行・歴史などの本
12. 以前に訪れ知っていた
13. その他 ()
14. 特にない

問 12 当地に到着後、旅行中に必要な情報はどのようにして収集しますか(収集しましたか)。(○は3つまで)

- | | | |
|-------------------|------------|---------------|
| 1. 旅行雑誌・ガイドブック | 5. 家族や友人の話 | 9. 地元住民の話 |
| 2. 柳川市発行のリーフレットなど | 6. 携帯電話 | 10. タクシー運転手の話 |
| 3. 観光案内所 | 7. 同行者の話 | 11. インターネット |
| 4. 観光案内板 | 8. 添乗員の話 | 12. その他 |
| | | 13. 特に無い |

問 13 今回の旅行で、どちらかに立ち寄って来られましたか。(○はいくつでも)

1. 直接来た

- | | | | | | | |
|------|------------|------------|-----------|--------|------------|------------|
| 福岡県 | 1. 福岡市 | 2. 北九州市 | 3. 太宰府天満宮 | 4. 八女市 | 5. その他 () | |
| 佐賀県 | 1. 吉野ヶ里 | 2. 伊万里市 | 3. 佐賀市 | 4. 武雄市 | 5. その他 () | |
| 長崎県 | 1. ハウステンボス | 2. 長崎市 | 3. 島原市 | 4. 雲仙 | 5. その他 () | |
| 熊本県 | 1. 黒川 | 2. 阿蘇 | 3. 山鹿市 | 4. 熊本市 | 5. その他 () | |
| 大分県 | 1. 別府 | 2. 由布院 | 3. 夢の大吊橋 | 4. 大分市 | 5. 日田市 | 6. その他 () |
| 宮崎県 | 1. 宮崎市 | 2. その他 () | | | | |
| 鹿児島県 | 1. 鹿児島市 | 2. その他 () | | | | |

問 14 今回の旅行で、どちらかに立ち寄って帰られますか。(○はいくつでも)

1. このまま帰宅

- | | | | | | | |
|------|------------|------------|-----------|--------|------------|------------|
| 福岡県 | 1. 福岡市 | 2. 北九州市 | 3. 太宰府天満宮 | 4. 八女市 | 5. その他 () | |
| 佐賀県 | 1. 吉野ヶ里 | 2. 伊万里市 | 3. 佐賀市 | 4. 武雄市 | 5. その他 () | |
| 長崎県 | 1. ハウステンボス | 2. 長崎市 | 3. 島原市 | 4. 雲仙 | 5. その他 () | |
| 熊本県 | 1. 黒川 | 2. 阿蘇 | 3. 山鹿市 | 4. 熊本市 | 5. その他 () | |
| 大分県 | 1. 別府 | 2. 由布院 | 3. 夢の大吊橋 | 4. 大分市 | 5. 日田市 | 6. その他 () |
| 宮崎県 | 1. 宮崎市 | 2. その他 () | | | | |
| 鹿児島県 | 1. 鹿児島市 | 2. その他 () | | | | |

問 15 今回、あなたが柳川市内で使う(使った)費用(ご家族、グループの場合は一人当たり)は、予定も含めてどの位ですか。(宿泊しない、わからない等の場合はそれぞれに○をつけてください)

宿泊費	およそ	円	しない	わからない
飲食費	およそ (具体的に)	円	しない	わからない
おみやげ費	およそ (具体的に)	円	買わない	わからない
交通費	およそ	円	利用しない	わからない
川下り		円	利用しない	わからない
入場・観覧・利用料等	およそ	円	しない	わからない

問 16 当地訪問の際に困ったこと、不満だったことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 駐車場が不足している | 7. 公衆トイレが少ない |
| 2. 観光スポット間の交通の便が悪い | 8. 街が汚れている |
| 3. 柳川全体の交通案内が少ない/わかりにくい | 9. 川が汚れている |
| 4. 目的地までの案内標示が少ない/わかりにくい | 10. 車が危ない |
| 5. 十分な観光・イベント情報が得られない(情報量が少ない) | 11. 土産品が多様ではない |
| 6. 従業員のサービスが悪い | 12. その他 () |
| | 13. 特に無い |

問 17 今回の柳川観光への満足度についてお伺いします。(項目ごとに○をお付けください)

	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
食事	1	2	3	4	5
みやげ品	1	2	3	4	5
観光施設やその内容	1	2	3	4	5
当地までの案内看板等の整備状況	1	2	3	4	5
旅行中の移動	1	2	3	4	5
観光施設、街の人たちのおもてなし	1	2	3	4	5
当地での情報収集	1	2	3	4	5
旅行全体	1	2	3	4	5

問 18 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳未満 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳以上 |

男	女	訪問時間:	現在時刻:
---	---	-------	-------

柳川市観光客動態調査報告書

発行 平成 24 年 3 月

〒832-8601 福岡県柳川市本町 87 番地 1
柳川市建設部観光課